

横須賀市教育アンケート報告書  
(一般市民・保護者・教員)

令和3年(2021年)4月

横須賀市教育委員会

## 目 次

I	概要	1
II	報告書の見方	3
III	アンケート結果	
1	横須賀の子ども像「人間性豊かな子ども」について	4
2	目指す子どもの教育の姿「学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている」について	6
3	学校教育における「生きる力」の育成について	8
4	学校教育における各目標・施策について	10
5	学校教育において今後重点を置くべき目標・施策について	
(1)	重点を置くべき施策	12
(2)	現在の実感と重点を置くべき施策の関係	14
6	望ましい先生について	16
7	学校での子どもの教育に必要だと思うことについて	17
8	基礎的な学力を高めるための取り組みについて	18
9	いじめや不登校について	19
10	社会教育「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」の実現について	20
11	社会教育における目標・施策について	22
12	社会教育において今後重点を置くべき目標・施策について	
(1)	重点を置くべき施策	24
(2)	現在の実感と重点を置くべき施策の関係	26
13	スポーツに関する質問	28
	質問ごとの回答理由	31
	基本的な属性	49
	調査票	50

## I 概要

### 1 調査目的

一般市民・保護者・教員に対し「横須賀が目指す子ども像」「横須賀が目指す教育の姿」をどう捉えているかなど、現行の教育大綱・教育振興基本計画に掲げる目標・施策に対する実感や望ましい学校像、教員像等を問い、次期教育振興基本計画の策定、今後の教育政策の参考とする。

### 2 実施時期 令和2年（2020年）11月2日～11月30日

### 3 有効回答数

区分	配布数	有効回答数			有効回答率
		紙	インターネット	計	
一般市民	2,000	488	115	603	30.2%
保護者	491	261	83	344	70.1%
教員	544	305	110	415	76.3%
計	3,035	1,054	308	1,362	44.9%

※有効回答数のうちインターネット回答の割合は22.6%

### 4 調査項目

- 問1～6 「横須賀の子ども像」について
- 問7～9 「目指す子どもの教育の姿」について
- 問10～13 「生きる力」の育成について
- 問14～18 学校教育における各目標・施策について
- 問19 学校教育において今後重点を置くべき目標・施策について
- 問20 望ましい先生について
- 問21 学校での子どもの教育に必要なだと思うことについて
- 問22 基礎的な学力を高めるための取り組みについて
- 問23 いじめや不登校への対策について
- 問24 「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」の実現について
- 問25～32 社会教育における各目標・施策について
- 問33 社会教育において今後重点を置くべき目標・施策について
- 問34 スポーツに関する質問

#### <基本的な属性>

- 一般市民 F1 年齢
- 保護者 F1 年齢 / F2 子どもが通う学校の種別
- 教員 F1 年齢 / F2 教員としての勤続年数 / F3 勤務する学校の種別

## 5 調査項目と教育振興基本計画の対応関係

アンケートの調査項目のうち、問1～19、問24～33は教育振興基本計画が目指す姿とそれを実現するための取り組みに対応した設問である。

また、問20～問22については、望ましい学校像、教員像等将来に向けての設問で、いずれも、市民・保護者・教員の実感を尋ねる内容としている。

### 調査項目と教育振興基本計画の対応関係

教育振興基本計画での位置づけ		対応する設問	
横須賀の子ども像		問1～6	
目指す子どもの教育の姿		問7～9	
学校 教育 編	「生きる力」の育成	問10～13	
	目標1 子どもの学びを豊かにします	問14	問 19
	目標2 子どもの健やかな体を育成します	問15	
	目標3 学校の組織力や教職員の力を高めます	問16	
	目標4 学校・家庭・地域の連携を深めます	問17	
	目標5 教育環境を整備し、充実させます	問18	
社会 教育 編	いつでも、どこでも、だれでも学べる社会の実現	問24	
	目標1 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図ります	問25	問 33
	目標2 学びの成果が生かせる社会を目指します	問26	
	目標3 家庭や地域における教育力の向上を図ります	問27	
	目標4 文化遺産の保存と活用を推進します	問28	
	目標5 図書館・博物館・美術館の活動を充実させます	問29～31	
	目標6 社会教育施設相互の連携を図ります	問32	

## II 報告書の見方

### 1 設問の方法

教育アンケートでは、横須賀市教育振興基本計画が掲げる「横須賀の子ども像」「目指す教育の姿」及びそれを実現するための取り組みについて以下のとおり設問し、実感を尋ねている。

#### (1) 現在について

計画で目指す状態にあるかを質問

①思う

②やや思う

③どちらともいえない

⇒ プラスのポイント

④あまり思わない

⑤思わない

⇒ マイナスのポイント

※ 「⑥わからない」と「無回答」を除いて回答割合を算出

#### (2) 以前（4～5年前）との比較

計画で目指す状態に向かってどうなっているかを質問

①よくなっている

②どちらかというよくなっている

③変わっていない

⇒ プラスのポイント

④どちらかという悪くなっている

⑤悪くなっている

⇒ マイナスのポイント

※ 「⑥わからない」と「無回答」を除いて回答割合を算出

### 2 DI 値を利用

設問に対する回答者の傾向をみるため、DI 値の考え方を利用する。

プラスのポイント - マイナスのポイント = DI

DI がプラス ⇒ 回答者の実感が、良好・改善の傾向にある。

DI がマイナス ⇒ 回答者の実感が、良好でない・後退の傾向にある。

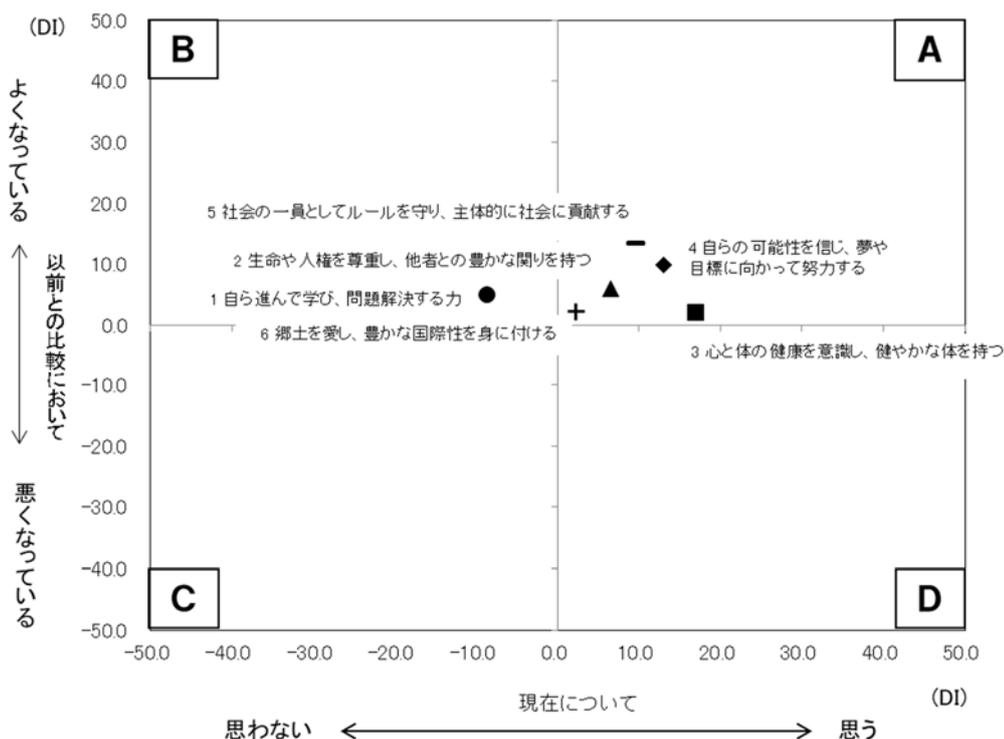
### Ⅲ アンケート結果

#### 1 横須賀の子ども像「人間性豊かな子ども」について ー特に大切にしたい6つの要素ー

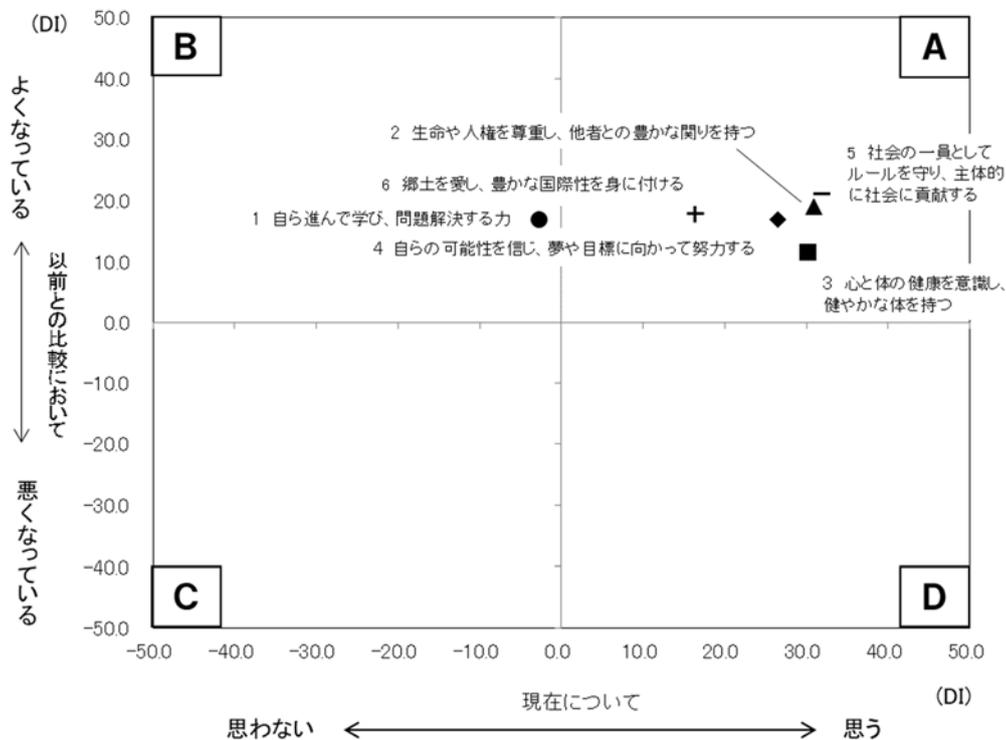
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問1	● 自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けていると思いますか。	▲ 8.7	5.0	▲ 2.7	16.9	▲ 1.0	21.3
問2	▲ 生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っていると思いますか。	6.5	6.0	30.9	19.1	29.1	21.4
問3	■ 心と体の健康を意識し、健やかな体を持っていると思いますか。	17.0	2.1	30.2	11.6	11.6	▲ 9.4
問4	◆ 自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力していると思いますか。	13.0	9.8	26.5	16.9	16.6	10.5
問5	- 社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献していると思いますか。	9.6	13.2	31.9	20.9	22.1	20.6
問6	+ 郷土を愛し、豊かな国際性を身に付けていると思いますか。	2.3	2.1	16.4	17.8	17.9	18.4

- ・「人間性豊かな子ども」を目指す上で特に大切にしている問1から問6の6つの要素の中で「現在」のポイント（実感）が最も低い（良好でない）のは、市民・保護者・教員いずれにおいても、「自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けている」である。
- ・「心と体の健康を意識し、健やかな体を持っている」は、市民・保護者・教員いずれも「現在」の実感は「良好」だが、「以前との比較」ではポイントが低くなる（特に教員）。
- ・他の要素は「良好・改善」だが、市民より保護者・教員の方が、ポイントが高い。

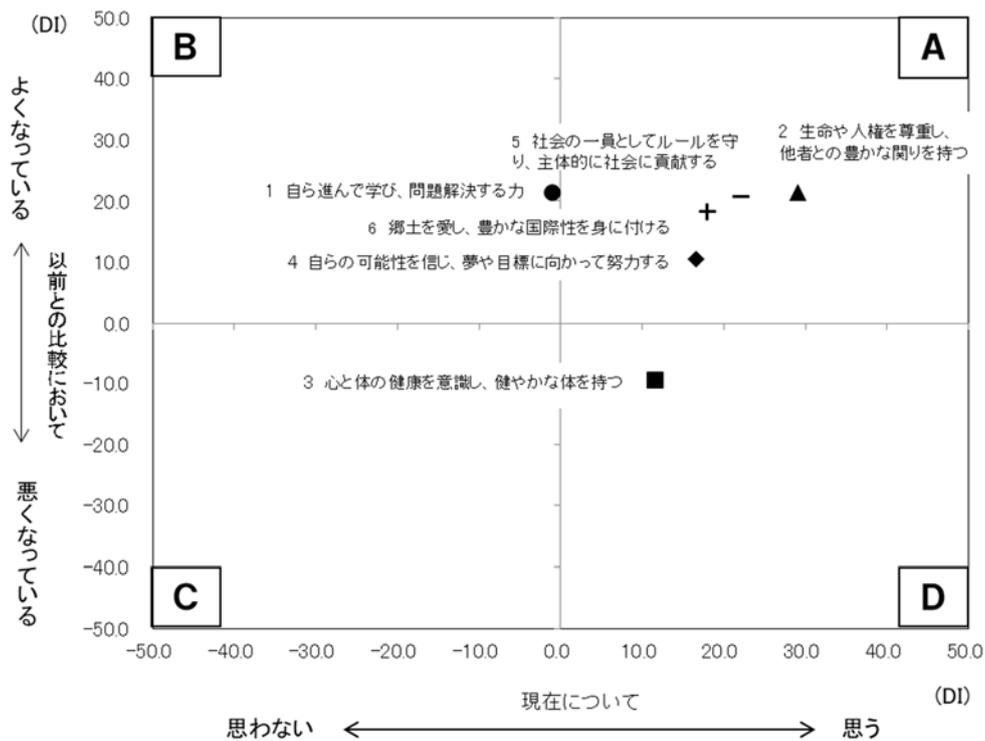
#### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感

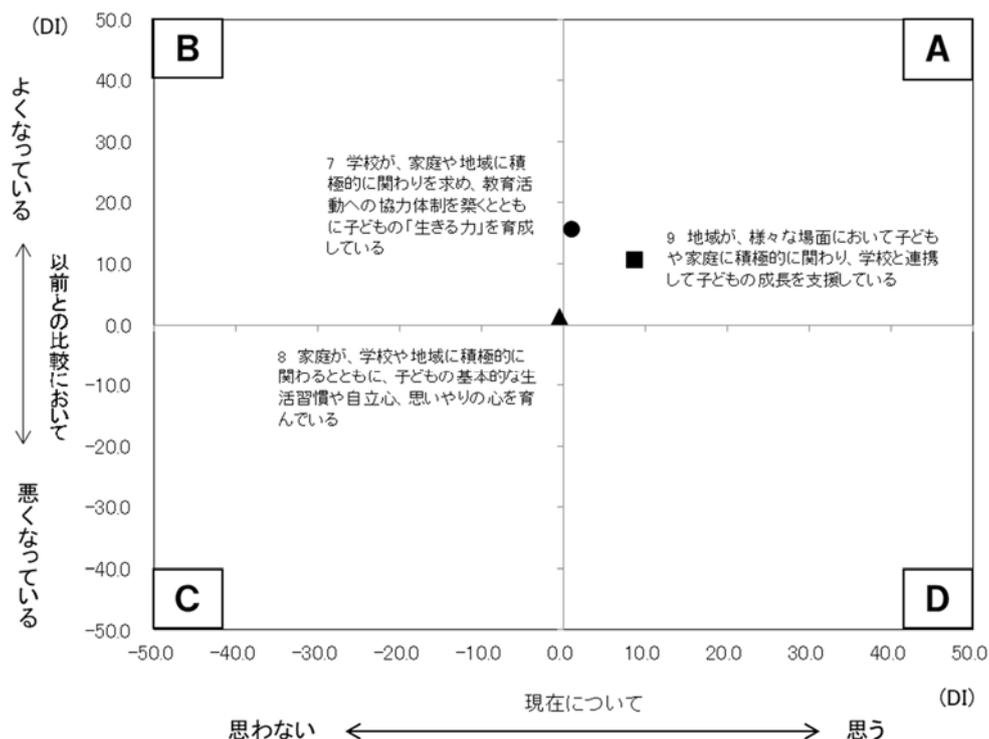


2 目指す子どもの教育の姿「学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている」について

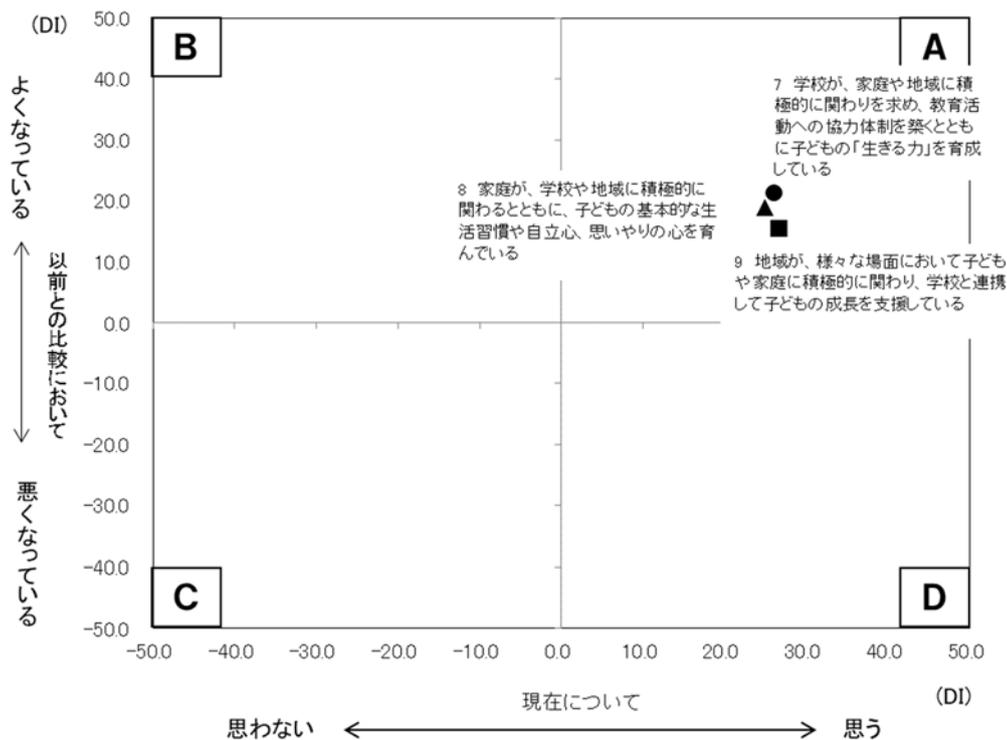
質問			市民		保護者		教員	
			現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀では、			現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問7	●	学校が、家庭や地域に積極的に関わりを求め、教育活動への協力体制を築くとともに、さまざまな教育活動を通して、子どもの「生きる力」を育成していると思いませんか。	1.0	15.7	26.0	21.3	49.7	36.5
問8	▲	家庭が、学校や地域に積極的に関わりとともに、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられるよう、また、自立心や思いやりの心などを育てるよう、子どもを育てていると思いませんか。	▲ 0.5	1.4	24.9	18.9	0.0	▲ 9.4
問9	■	地域が、日常生活はもとより、行事、生涯学習、スポーツ、企業活動など様々な場面において子どもや家庭に積極的に関わり、学校と連携して子どもの成長を支援していると思いませんか。	8.7	10.7	26.6	15.4	24.2	18.6

- ・「学校の積極的な関わり」は、教員の実感は大きくプラスだが、市民・保護者の実感と開きがある。
- ・「家庭の積極的な関わり」は、保護者の実感「良好・改善」だが、市民・教員のポイントは高くない。
- ・「地域の積極的な関わり」は、市民・保護者・教員いずれも「良好・改善」である。

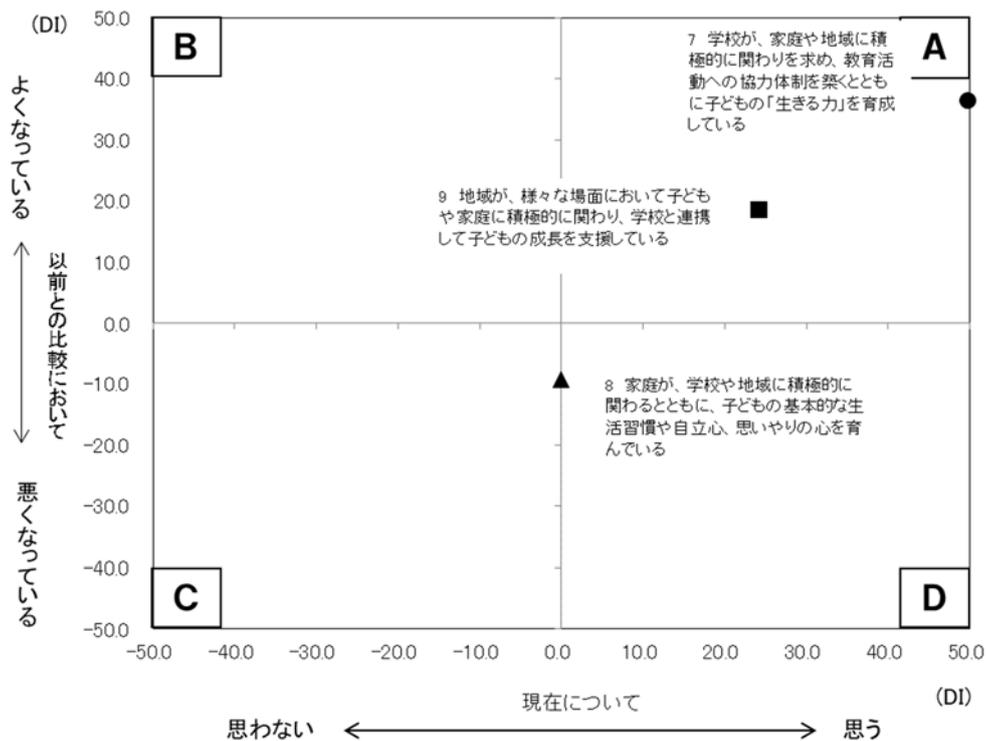
(1) 市民の実感



## (2) 保護者の実感



## (3) 教員の実感



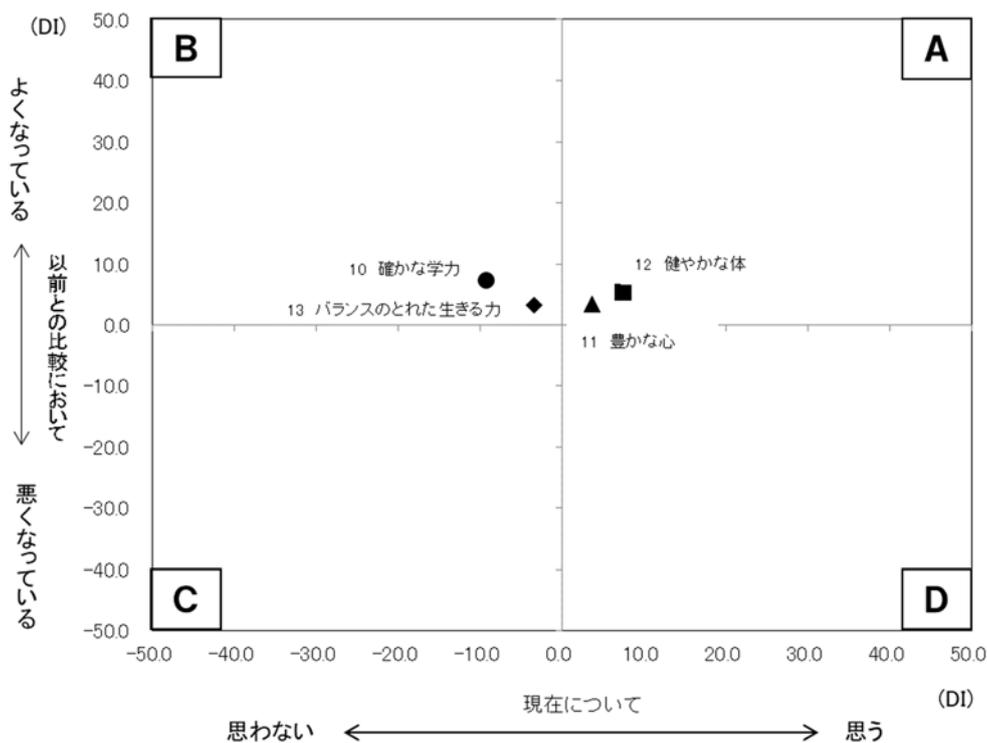
### 3 学校教育における「生きる力」の育成について

DI値(ポイント)

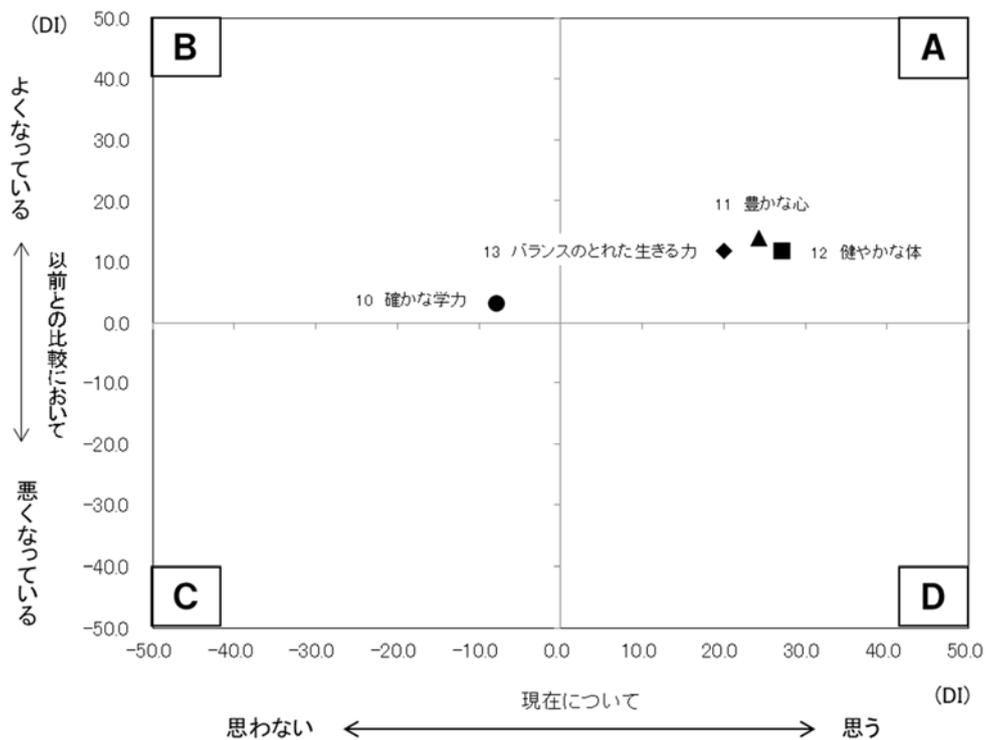
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の学校教育において、子どもの							
問10	● 「確かな学力」は育まれていると思いますか。	▲ 9.3	7.4	▲ 7.8	3.2	22.3	30.8
問11	▲ 「豊かな心」は育まれていると思いますか。	3.6	3.5	24.4	13.8	30.4	28.8
問12	■ 「健やかな体」は育まれていると思いますか。	7.4	5.3	27.2	11.8	15.7	7.0
問13	◆ 確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた「生きる力」は育まれていると思いますか	▲ 3.4	3.2	20.0	11.8	19.5	20.7

- ・「確かな学力」は、市民・保護者の実感は「良好でない」だが、教員の実感は「良好・改善」で開きが大きい。
- ・「豊かな心」は、市民のポイントは高くないが、保護者・教員の実感は「良好・改善」である。
- ・「健やかな体」は、保護者では「現在」の実感の中で最も高いが、教員では最も低い。
- ・「バランスのとれた生きる力」は、市民の実感は「良好でない」だが、教員・保護者の実感は「良好・改善」である。

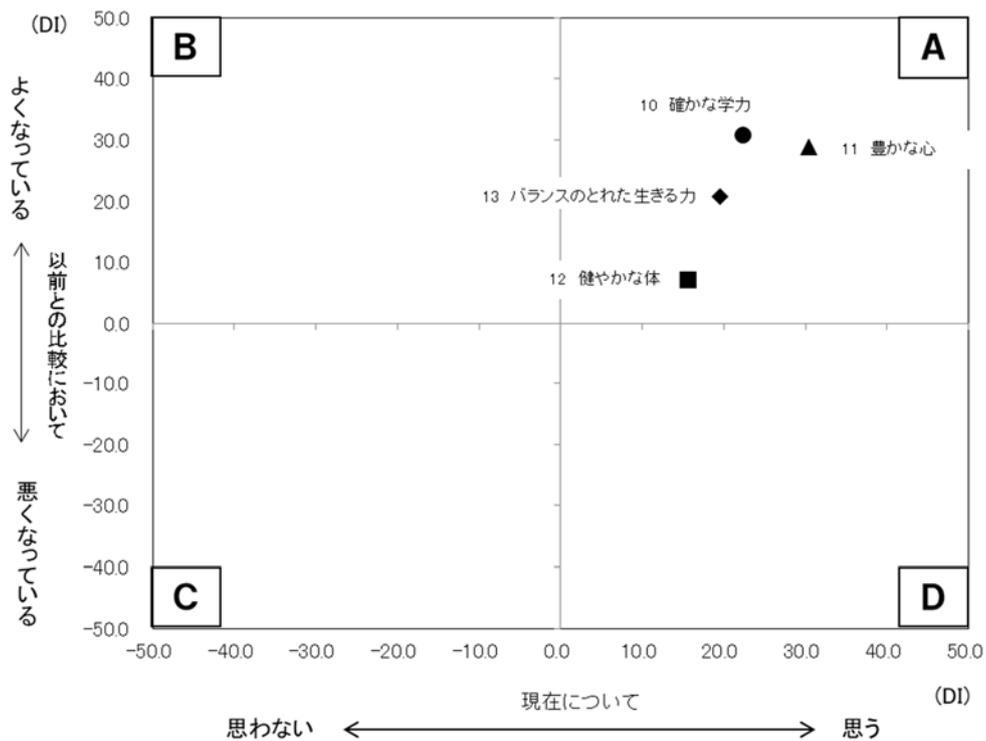
#### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感

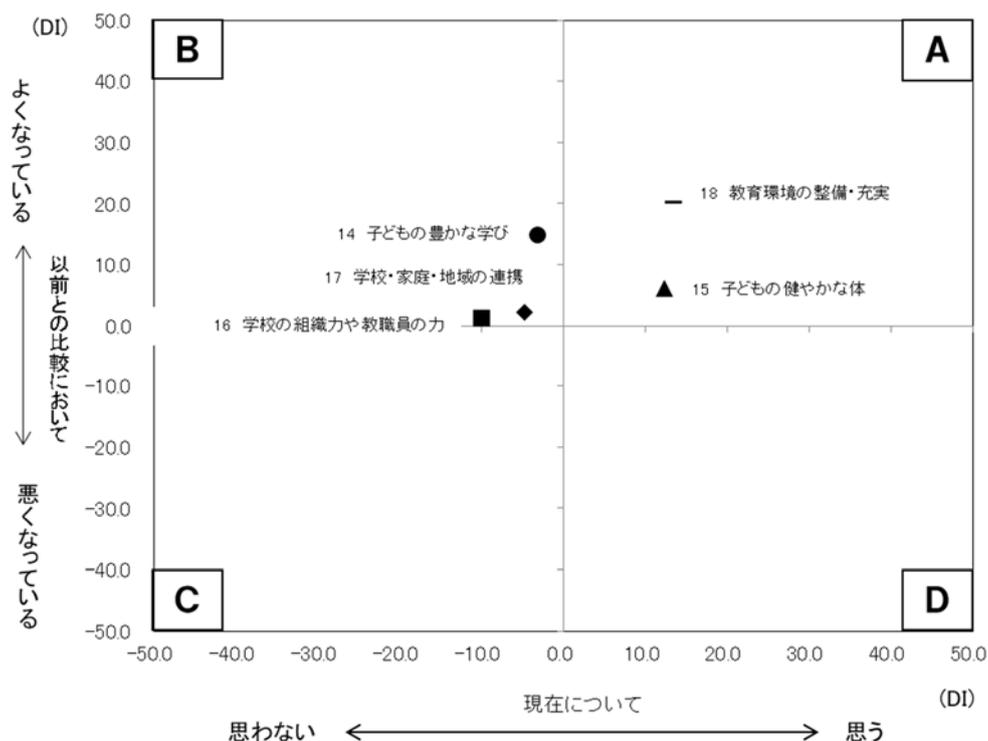


#### 4 学校教育における各目標・施策について

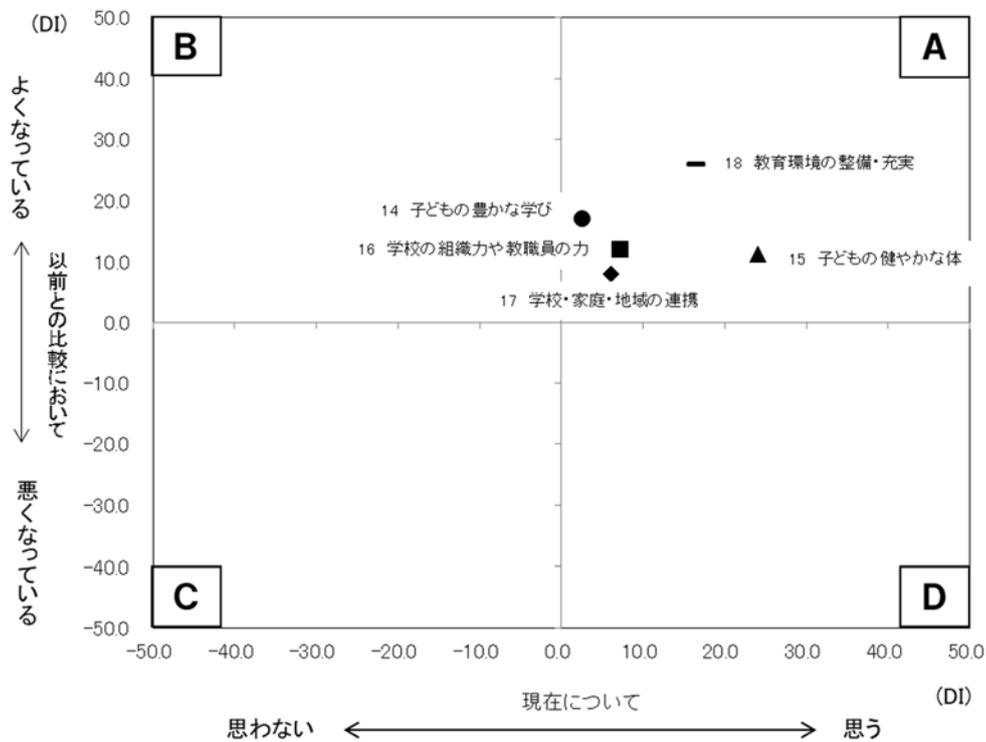
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問14	● 子どもの学びを豊かにする施策	▲ 3.1	14.8	2.5	17.1	39.8	48.7
問15	▲ 子どもの健やかな体を育成する施策	12.4	6.1	24.1	11.2	12.8	7.0
問16	■ 学校の組織力や教職員の力を高める施策	▲ 10.0	1.2	7.2	12.0	25.8	18.2
問17	◆ 学校・家庭・地域の連携を深める施策	▲ 4.7	2.2	6.1	8.0	9.8	6.9
問18	— 教育環境を整備し、充実させる施策	13.4	20.1	16.5	25.9	▲ 3.7	17.4

- ・「子どもの学びを豊かにする施策」「学校の組織力や教職員の力を高める施策」は、市民・保護者の現在についての実感は高くない。「いじめや不登校への対応が不十分」という理由が多く挙げられている。教員の実感「ICTを活用した教育の充実」等により「良好」であり、大きな開きがある。
- ・「子どもの健やかな体を育成する施策」は、市民・保護者・教員の実感と同じ傾向にある。主な理由として、「食育、給食の充実」が挙げられている。
- ・「教育環境の整備・充実」は、市民・保護者の実感はいずれも「良好・改善」である。主な理由として「エアコン等学校施設、設備の充実」が挙げられている。教員の実感はいずれも「悪くなる」であり、主な理由として「教員の人手不足」が挙げられている。

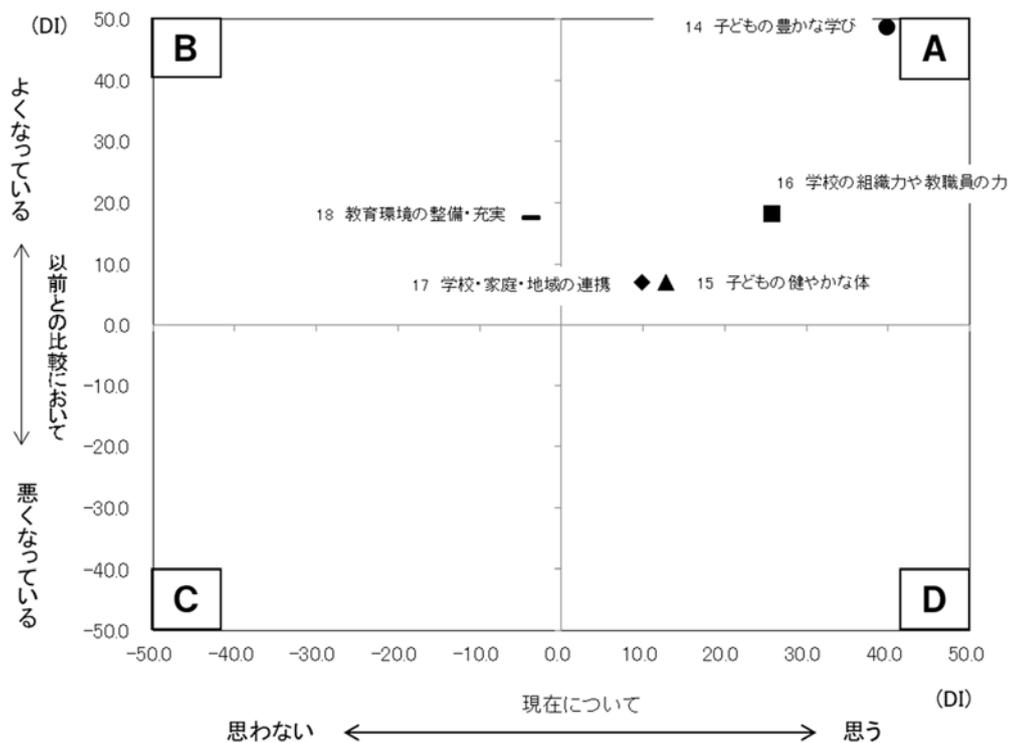
##### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感



(回答理由については、P32~P39 参照)

## 5 学校教育において今後重点を置くべき目標・施策について

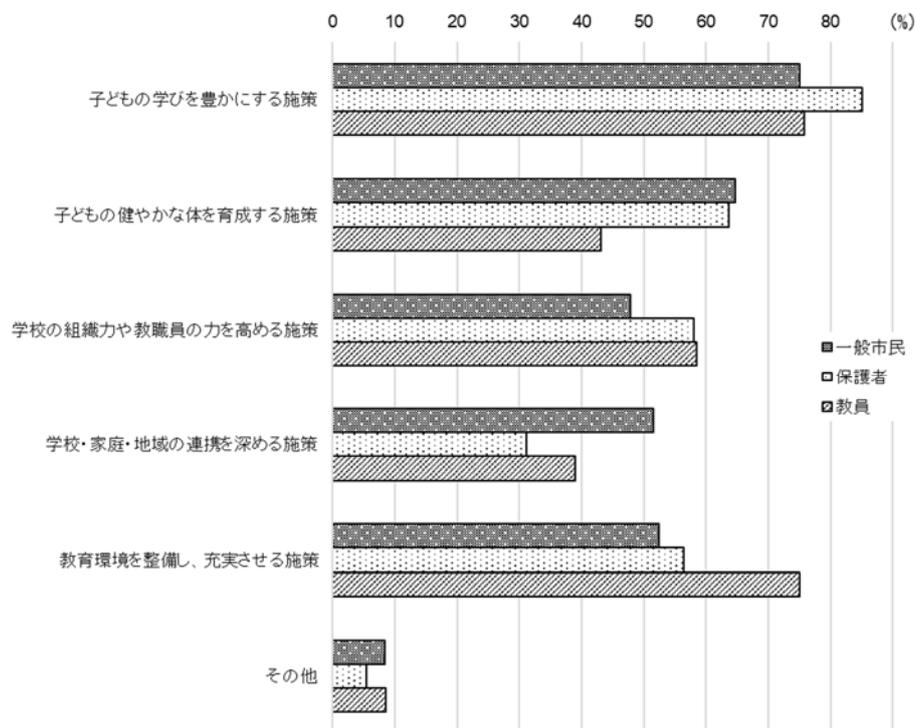
### (1) 重点を置くべき施策

問 19 確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた「生きる力」を育成するため、今後、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(重点を置くべきと思う順に3つまで回答)

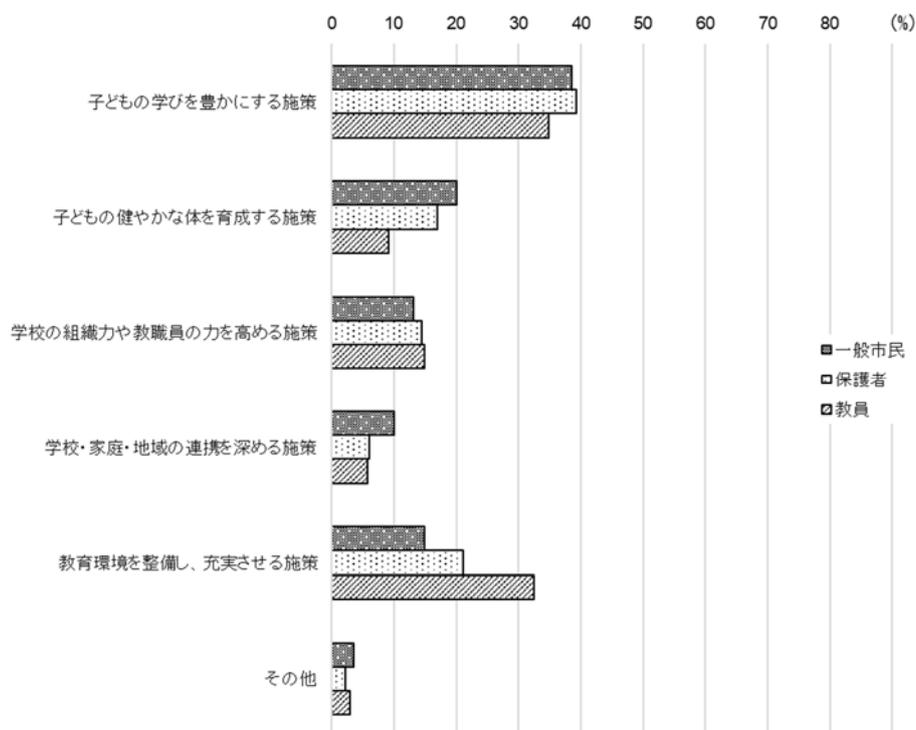
施策内容	区分	全体		1番目		2番目		3番目	
		順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
子どもの学びを豊かにする施策	市民	1	75.0	1	38.5	3	19.7	3	16.8
	保護者	1	85.1	1	39.3	2	27.7	3	18.2
	教員	1	75.8	1	34.9	4	18.6	2	22.3
子どもの健やかな体を育成する施策	市民	2	64.8	2	20.1	1	29.6	4	15.1
	保護者	2	63.7	3	16.9	1	28.9	4	17.9
	教員	4	43.1	4	9.2	3	18.9	5	15.1
学校の組織力や教職員の力を高める施策	市民	5	47.9	4	13.1	2	19.9	5	14.9
	保護者	3	58.0	4	14.5	3	19.1	1	24.4
	教員	3	58.4	3	14.9	1	25.7	4	17.9
学校・家庭・地域の連携を深める施策	市民	4	51.5	5	9.9	4	16.2	1	25.4
	保護者	5	31.2	5	6.0	5	10.9	5	14.2
	教員	5	39.0	5	5.7	5	14.9	3	18.4
教育環境を整備し、充実させる施策	市民	3	52.4	3	14.9	5	14.0	2	23.5
	保護者	4	56.4	2	21.1	4	12.8	2	22.5
	教員	2	75.1	2	32.4	2	19.9	1	22.8
その他	市民	6	8.4	6	3.5	6	0.6	6	4.4
	保護者	6	5.5	6	2.1	6	0.6	6	2.8
	教員	6	8.6	6	3.0	6	2.0	6	3.6

- ・全体及び1番目に選択された施策の1位は、市民・保護者・教員いずれも「子どもの学びを豊かにする施策」である。
- ・全体の2位は、市民・保護者では「子どもの健やかな体を育成する施策」だが、教員では「教育環境を整備し、充実させる施策」である。
- ・保護者・教員では、「学校・家庭・地域の連携を深める施策」の順位が最も低い。

【1番目・2番目・3番目 合計】



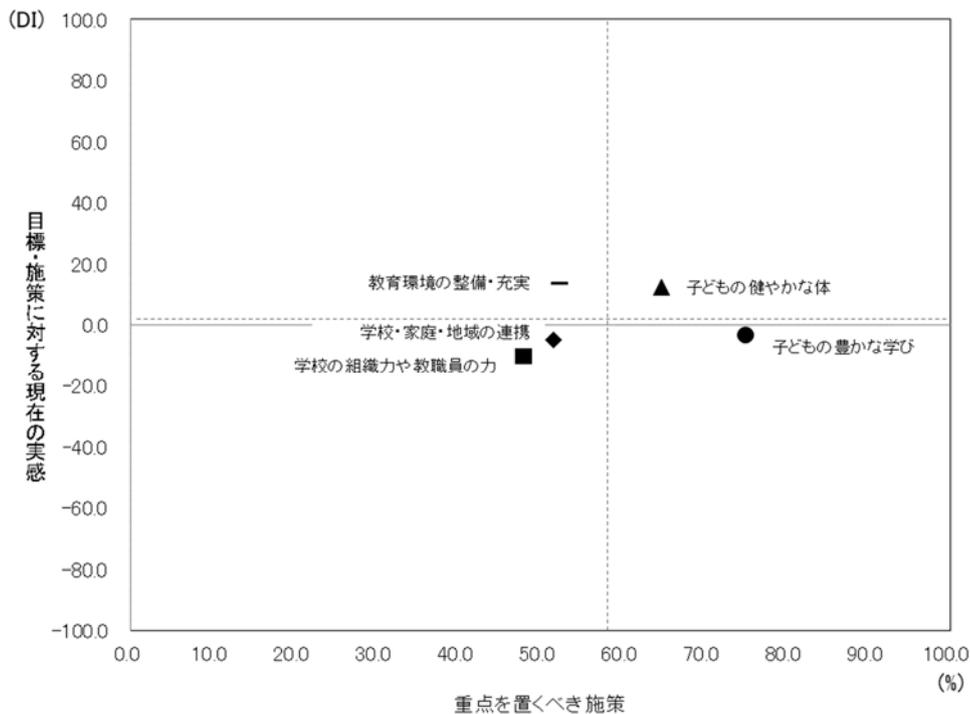
【1番目】



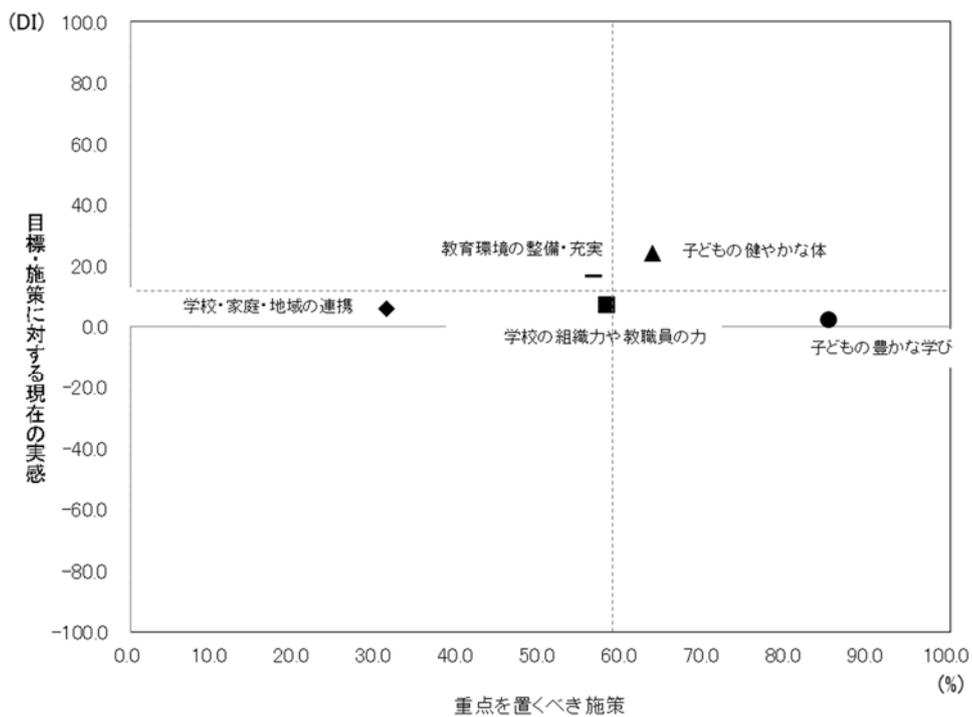
## (2) 現在の実感と重点を置くべき施策の関係

- ・「現在の実感」が平均より高く、「重点を置くべき」の割合も平均より高い施策（右上）は、市民・保護者では「子どもの健やかな体を育成する施策」であり、教員では「子どもの学びを豊かにする施策」である。
- ・「現在の実感」が平均より高く、「重点を置くべき」の割合が平均より低い施策（左上）は、市民・保護者では「教育環境の整備・充実」である。
- ・「現在の実感」が平均より低く、「重点を置くべき」の割合も平均より低い施策（左下）は、市民・保護者・教員いずれも「学校・家庭・地域の連携を深める施策」である。教員においては「子どもの健やかな体を育成する施策」も同様（左下）である。
- ・「現在の実感」が平均より低く、「重点を置くべき」の割合が平均より高い施策（右下）は、市民・保護者では「子どもの学びを豊かにする施策」であり、教員では「教育環境の整備・充実」である。

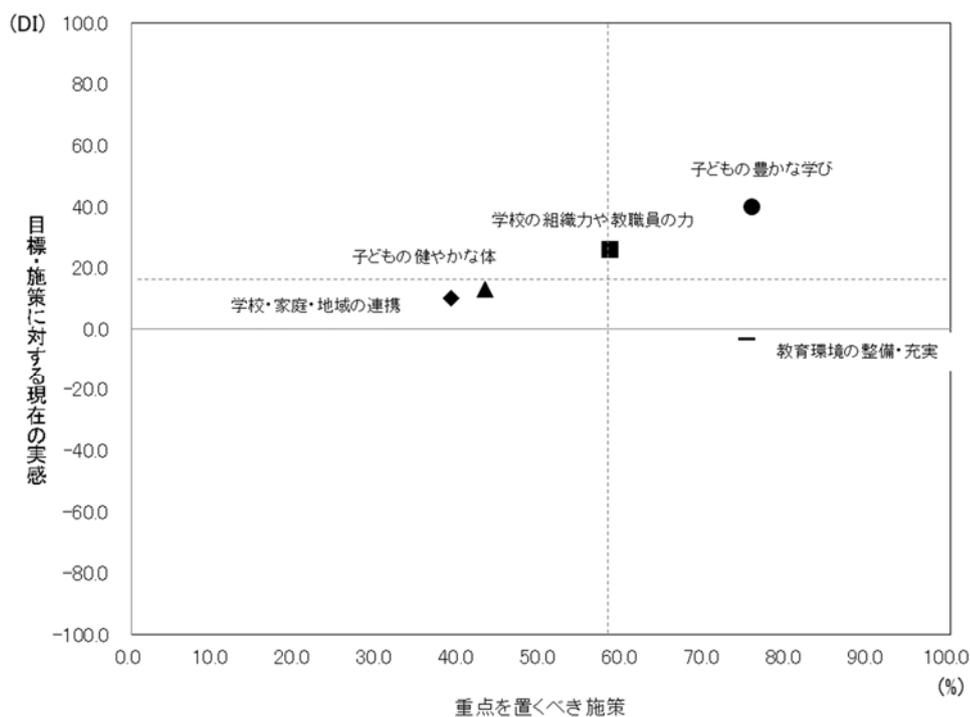
### ① 現在の実感×重点を置くべき施策（市民）



② 現在の実感×重点を置くべき施策（保護者）



③ 現在の実感×重点を置くべき施策（教員）



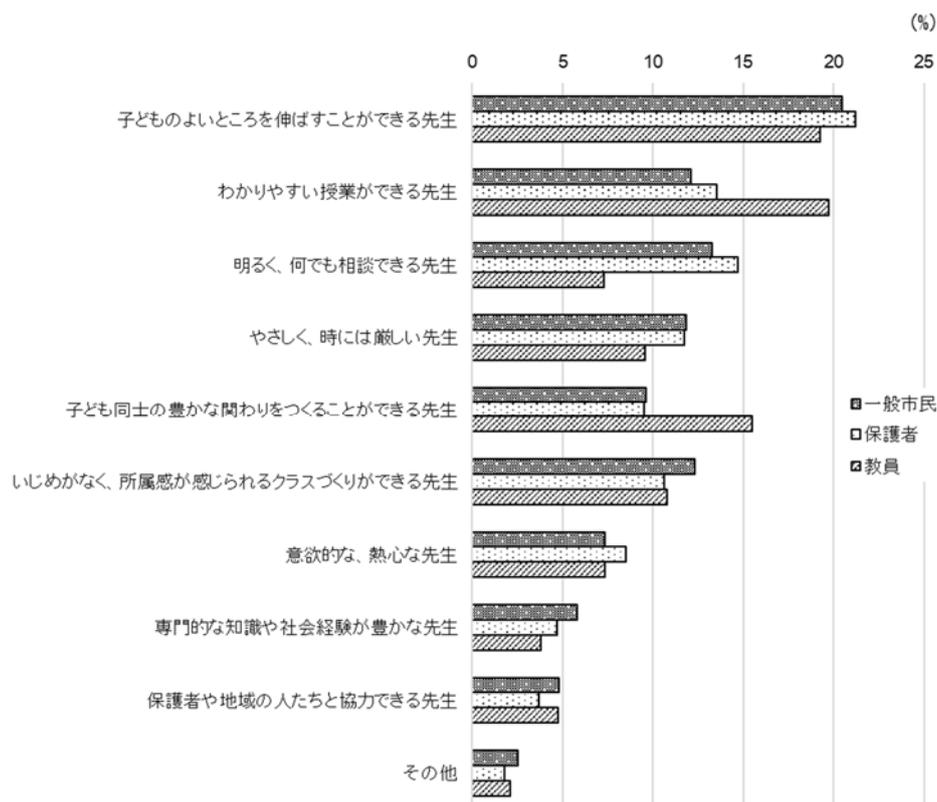
※グラフ内の破線は、「重点を置くべき施策の回答割合 (%)」と「目標・施策に対する現在の実感 (DI 値)」それぞれの平均値を示したもの (市民 : X=57.4, Y=1.6 保護者 : X=58.4, Y=11.3 教員 : X=57.3, Y=16.9)

## 6 望ましい先生について

問 20 あなたが考える望ましい先生は、どのような先生ですか。(3つまで回答)

選択肢	市民		保護者		教員	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
子どものよいところを伸ばすことができる先生	1	20.5	1	21.2	2	19.2
わかりやすい授業ができる先生	4	12.1	3	13.5	1	19.7
明るく、何でも相談できる先生	2	13.3	2	14.7	7	7.3
やさしく、時には厳しい先生	5	11.8	4	11.7	5	9.5
子ども同士の豊かな関わりをつくることのできる先生	6	9.6	6	9.5	3	15.5
いじめがなく、所属感が感じられるクラスづくりができる先生	3	12.3	5	10.6	4	10.8
意欲的な、熱心な先生	7	7.3	7	8.5	6	7.4
専門的な知識や社会経験が豊かな先生	8	5.8	8	4.7	9	3.8
保護者や地域の人たちと協力できる先生	9	4.8	9	3.7	8	4.8
その他	10	2.5	10	1.8	10	2.1

- ・最も多く選択されているのは、市民・保護者では「子どものよいところを伸ばすことができる先生」である。教員でも同項目は多く選択されているが、最も多く選択されているのは「わかりやすい授業ができる先生」である。
- ・「明るく、何でも相談できる先生」は、市民・保護者では2番目に多く選択されているが、教員では7番目である。
- ・「子ども同士の豊かな関わりをつくることのできる先生」は、教員では3番目に多く選択されているが、市民・保護者では6番目である。

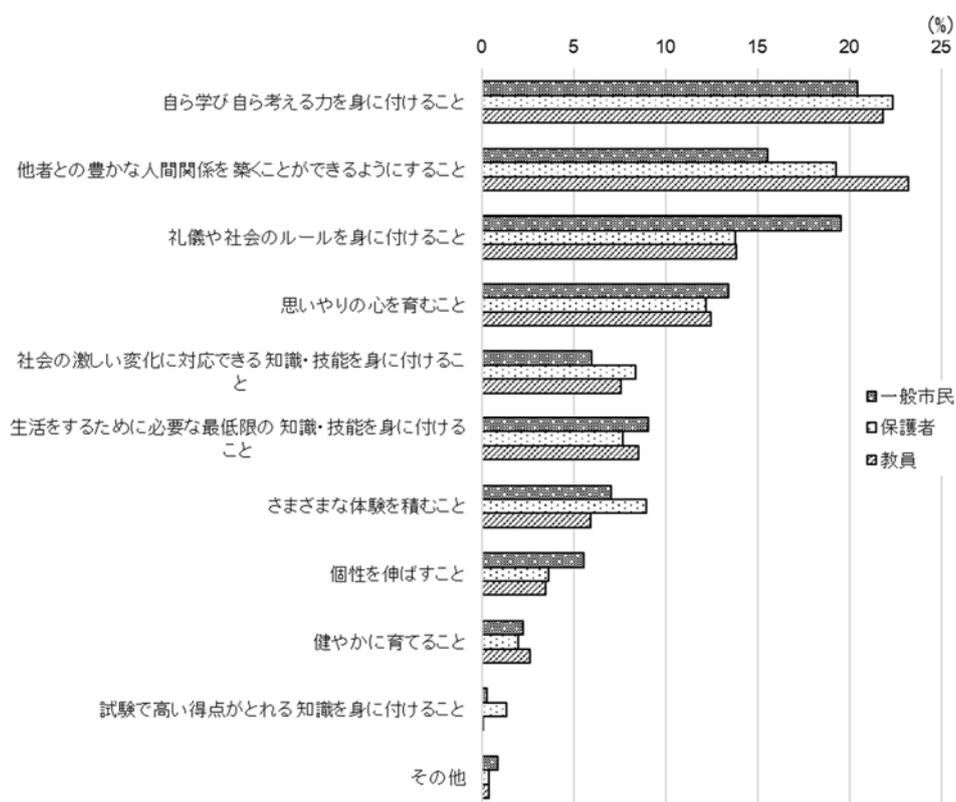


## 7 学校での子どもの教育に必要だと思うことについて

問 21 あなたが、学校での子どもの教育に必要だと思うことは何ですか。(3つまで回答)

選択肢	市民		保護者		教員	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
自ら学び自ら考える力を身に付けること	1	20.5	1	22.3	2	21.8
他者との豊かな人間関係を築くことができるようにすること	3	15.5	2	19.3	1	23.2
礼儀や社会のルールを身に付けること	2	19.5	3	13.8	3	13.8
思いやりの心を育むこと	4	13.4	4	12.2	4	12.5
社会の激しい変化に対応できる知識・技能を身に付けること	7	6.0	6	8.4	6	7.6
生活をするために必要な最低限の知識・技能を身に付けること	5	9.1	7	7.7	5	8.6
さまざまな体験を積むこと	6	7.1	5	9.0	7	5.9
個性を伸ばすこと	8	5.5	8	3.6	8	3.5
健やかに育てること	9	2.3	9	2.0	9	2.6
試験で高い得点がとれる知識を身に付けること	11	0.3	10	1.4	11	0.1
その他	10	0.9	11	0.4	10	0.4

- ・最も多く選択されているのは、市民・保護者では「自ら学び自ら考える力を身に付けること」、教員では「他者との豊かな人間関係を築くことができるようにすること」である。
- ・2番目に多く選択されているのは、市民では「礼儀や社会のルールを身に付けること」、保護者では「他者との豊かな人間関係を築くことができるようにすること」、教員では「自ら学び自ら考える力を身に付けること」である。

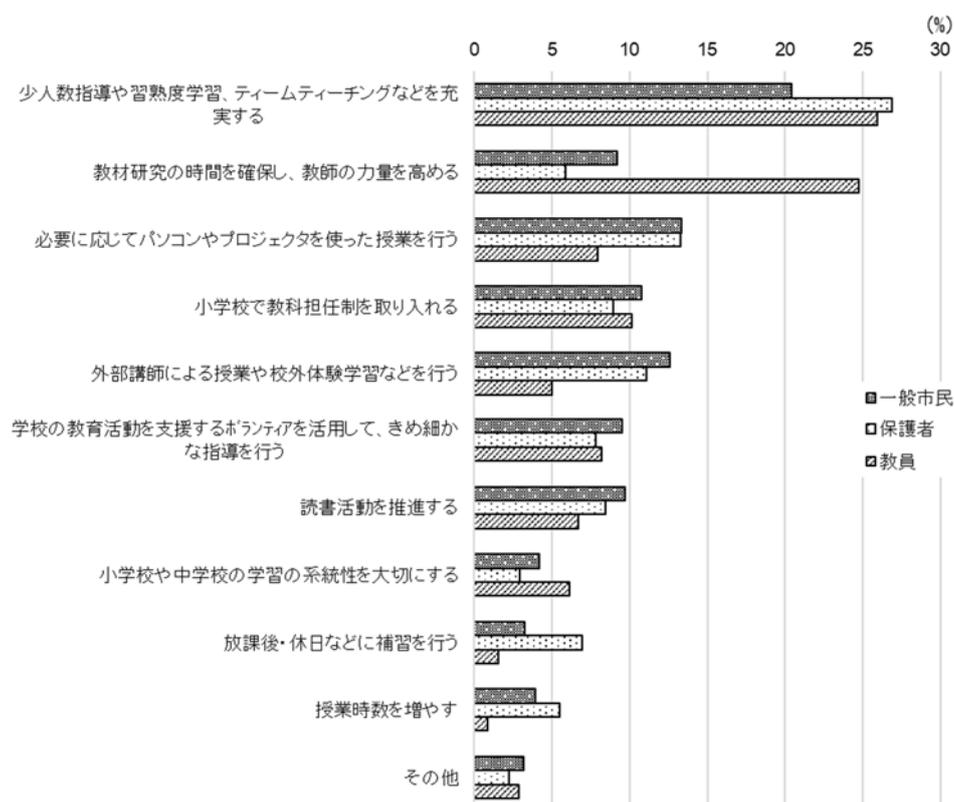


## 8 基礎的な学力を高めるための取り組みについて

問 22 基礎的な学力を高めるために、学校教育でどのような取り組みの体制が必要とお考えですか。(3つまで回答)

選択肢	市民		保護者		教員	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
少人数指導や習熟度学習、チームティーチングなどを充実する	1	20.4	1	26.9	1	25.9
教材研究の時間を確保し、教師の力量を高める	7	9.2	8	5.9	2	24.7
必要に応じてパソコンやプロジェクタを使った授業を行う	2	13.4	2	13.3	5	7.9
小学校で教科担任制を取り入れる	4	10.8	4	9.0	3	10.2
外部講師による授業や校外体験学習などを行う	3	12.6	3	11.1	8	5.0
学校の教育活動を支援するボランティアを活用して、きめ細かな指導を行う	6	9.5	6	7.8	4	8.2
読書活動を推進する	5	9.7	5	8.4	6	6.7
小学校や中学校の学習の系統性を大切にする	8	4.2	10	3.0	7	6.1
放課後・休日などに補習を行う	10	3.2	7	7.0	10	1.6
授業時数を増やす	9	3.9	9	5.5	11	0.9
その他	11	3.2	11	2.2	9	2.8

- ・最も多く選択されているのは、市民・保護者・教員いずれも「少人数指導や習熟度学習、チームティーチングなどを充実する」である。
- ・教員が2番目に多く選択している「教材研究の時間を確保し、教師の力量を高める」は、市民では7番目、保護者では8番目であり、大きな開きがある。
- ・市民・保護者では3番目に多い「外部講師による授業や校外体験学習などを行う」は、教員では8番目である。

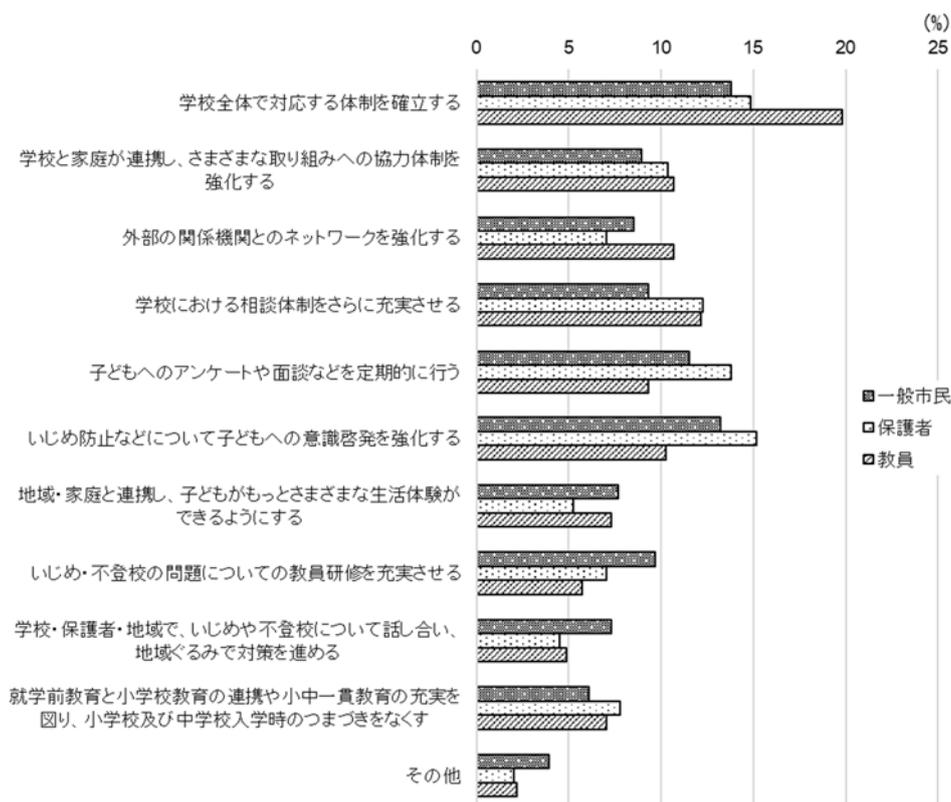


## 9 いじめや不登校について

問 23 いじめや不登校を未然に防止するためには、どのような対策が有効だとお考えですか。(3つまで回答)

選択肢	市民		保護者		教員	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
学校全体で対応する体制を確立する	1	13.8	2	14.8	1	19.8
学校と家庭が連携し、さまざまな取り組みへの協力体制を強化する	6	8.9	5	10.4	4	10.7
外部の関係機関とのネットワークを強化する	7	8.5	8	7.0	4	10.7
学校における相談体制をさらに充実させる	5	9.3	4	12.3	2	12.2
子どもへのアンケートや面談などを定期的に行う	3	11.5	3	13.8	6	9.3
いじめ防止などについて子どもへの意識啓発を強化する	2	13.2	1	15.2	5	10.3
地域・家庭と連携し、子どもがもっとさまざまな生活体験ができるようにする	8	7.7	9	5.2	7	7.3
いじめ・不登校の問題についての教員研修を充実させる	4	9.7	8	7.0	9	5.7
学校・保護者・地域で、いじめや不登校について話し合い、地域ぐるみで対策を進める	9	7.3	10	4.5	10	4.9
就学前教育と小学校教育の連携や小中一貫教育の充実を図り、小学校及び中学校入学時のつまづきをなくす	10	6.1	6	7.8	8	7.0
その他	11	3.9	11	2.0	11	2.2

- ・最も多く選択されているのは、市民・教員では「学校全体で対応する体制を確立する」である。保護者では同項目は2番目だが、1番目とほぼ同数である。
- ・保護者では最も多く選択され、市民では2番目に多く選択されている「いじめ防止などについて子どもへの意識啓発を強化する」は、教員では5番目である。
- ・市民・保護者では3番目に多く選択されている「子どもへのアンケートや面談などを定期的に行う」は、教員では6番目である。

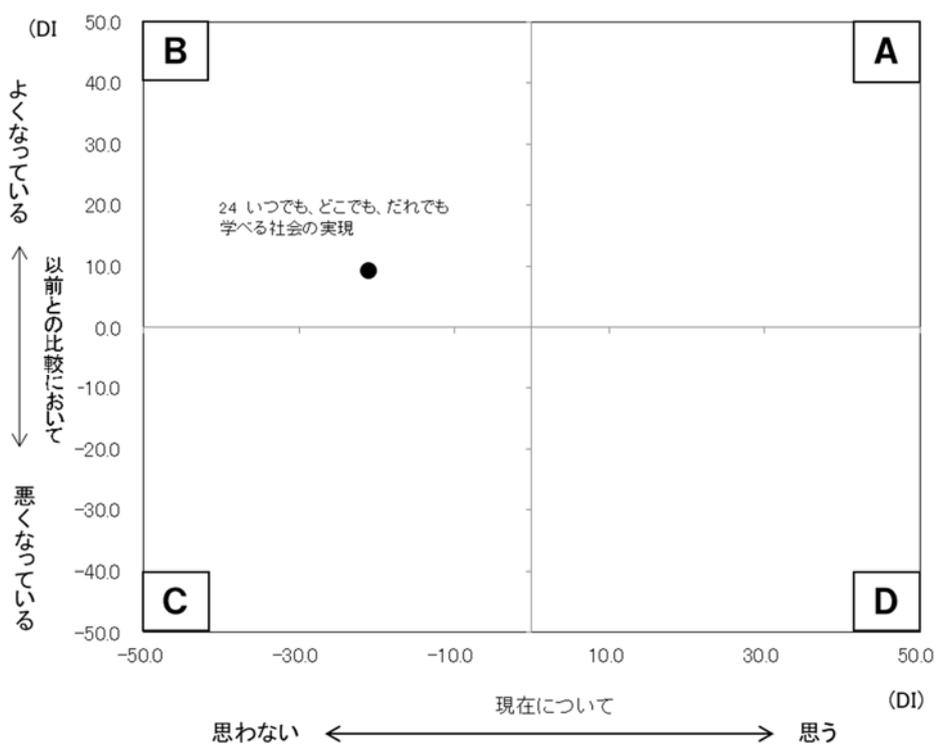


## 10 社会教育「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」の実現について

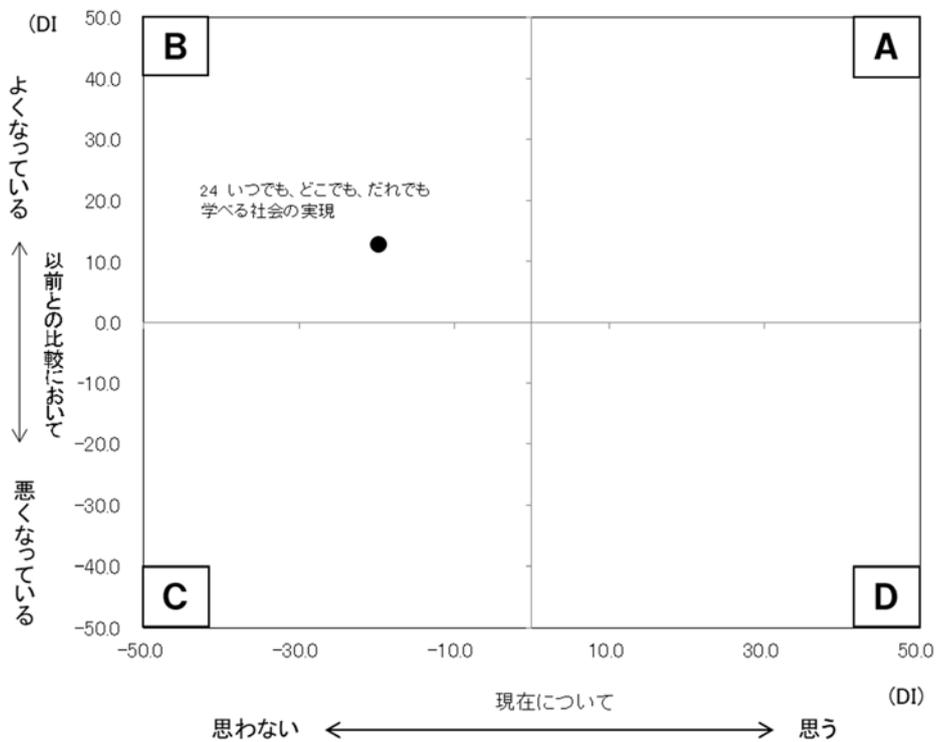
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問24	横須賀では、「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」が実現していると思いますか。	▲ 21.0	9.4	▲ 19.8	12.9	▲ 16.1	18.2

- ・市民・保護者・教員いずれも、「現在」の実感は「良好でない」だが、「以前との比較」は「改善」となっている。

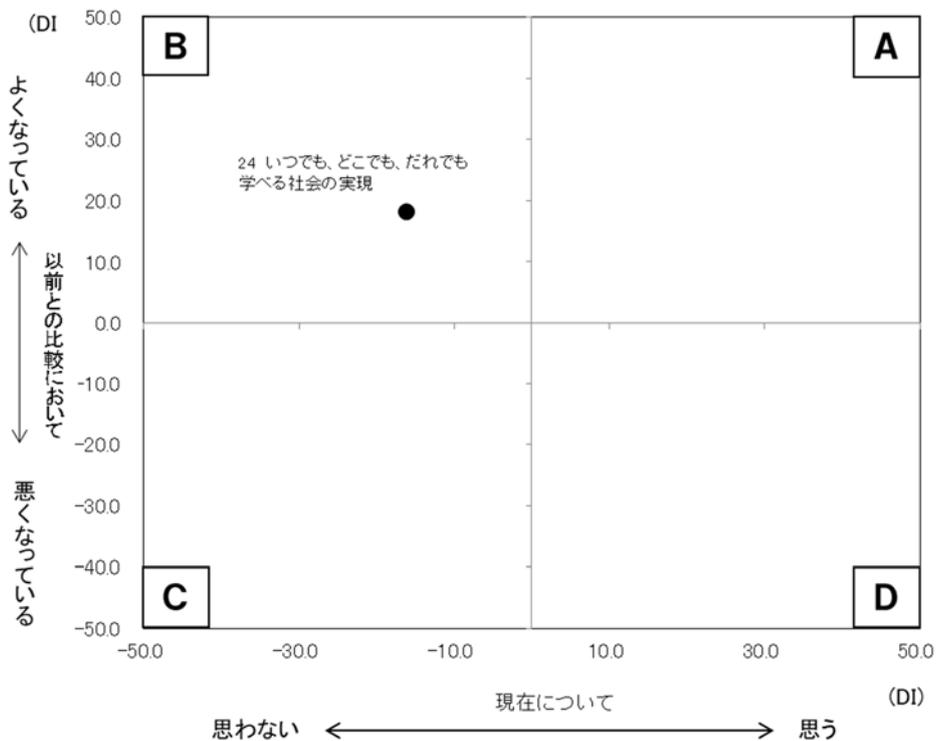
### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感

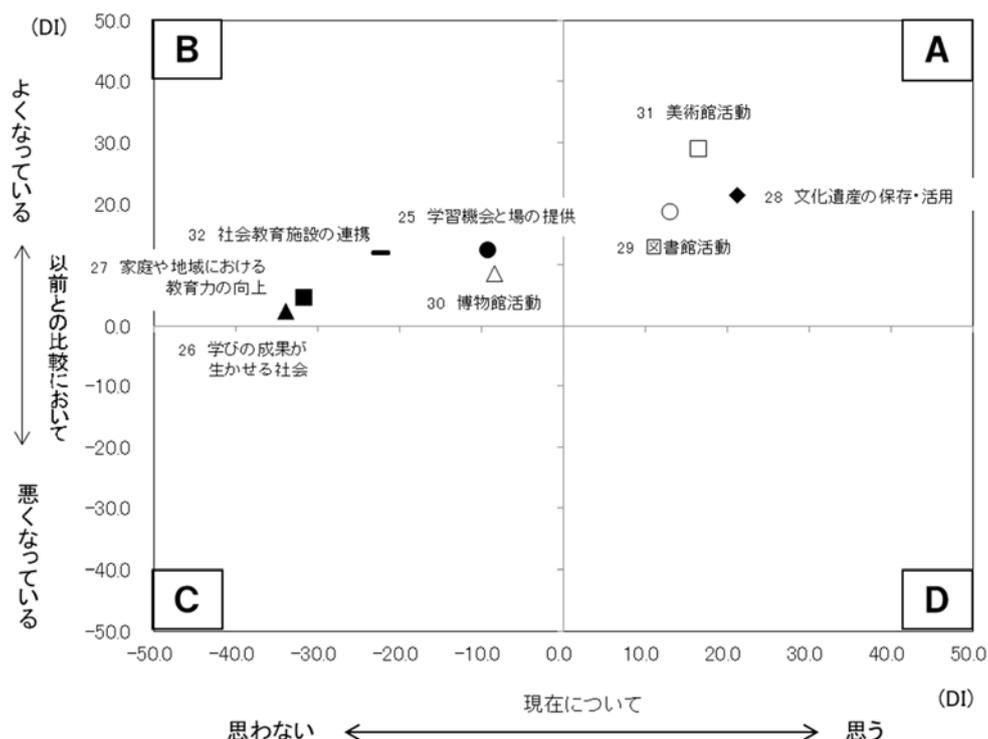


## 11 社会教育における目標・施策について

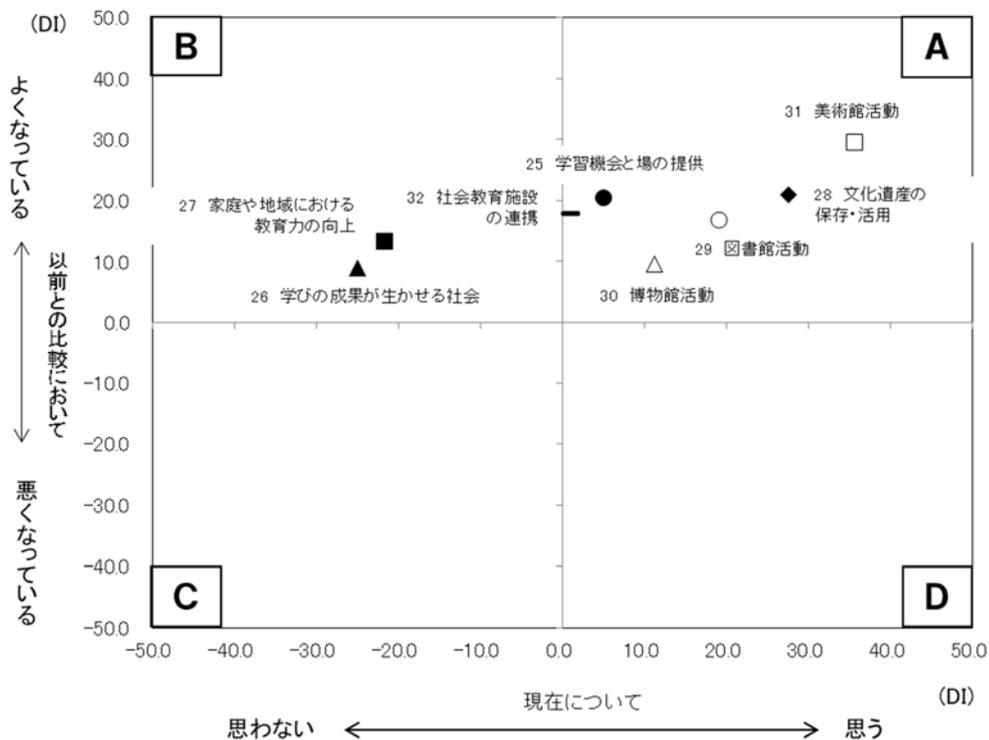
質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
以下の目標・施策に対する実感							
問25	● 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策	▲ 9.2	12.5	4.9	20.5	7.3	26.0
問26	▲ 学びの成果が生かせる社会を目指す施策	▲ 33.8	2.4	▲ 25.0	9.0	▲ 17.7	8.1
問27	■ 家庭や地域における教育力の向上を図る施策	▲ 31.7	4.7	▲ 21.8	13.3	▲ 27.1	0.8
問28	◆ 文化遺産の保存と活用を推進する施策	21.3	21.3	27.6	20.9	42.3	27.1
問29	○ 図書館の活動を充実させる施策	13.0	18.8	19.0	16.9	38.0	40.2
問30	△ 博物館の活動を充実させる施策	▲ 8.4	8.5	11.3	9.6	22.4	26.1
問31	□ 美術館の活動を充実させる施策	16.5	29.1	35.7	29.6	55.6	44.9
問32	━ 社会教育施設相互の連携を図る施策	▲ 22.3	11.8	1.0	17.7	16.4	25.0

- ・「文化遺産の保存と活用を推進する施策」「図書館の活動を充実させる施策」「美術館の活動を充実させる施策」は、市民・保護者・教員いずれも「良好・改善」である。主な理由として「文化財の広報、活用の充実」「図書の返却場所が多いなど便利」「子ども対象の取り組みなど企画・展示内容が良い」が挙げられている。
- ・「学びの成果が生かせる社会を目指す施策」「家庭や地域における教育力の向上を図る施策」は、市民・保護者・教員いずれも現在の実感は「良好でない」である。主な理由として「成果を発揮する機会がない」「取り組み内容を知らない」が挙げられている。
- ・「市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策」「博物館の活動を充実させる施策」は、保護者・教員の現在の実感は「良好」だが、市民の実感はマイナスである。マイナスの主な理由として「学べる場が充実していない」「昔から変化がない」が挙げられている。

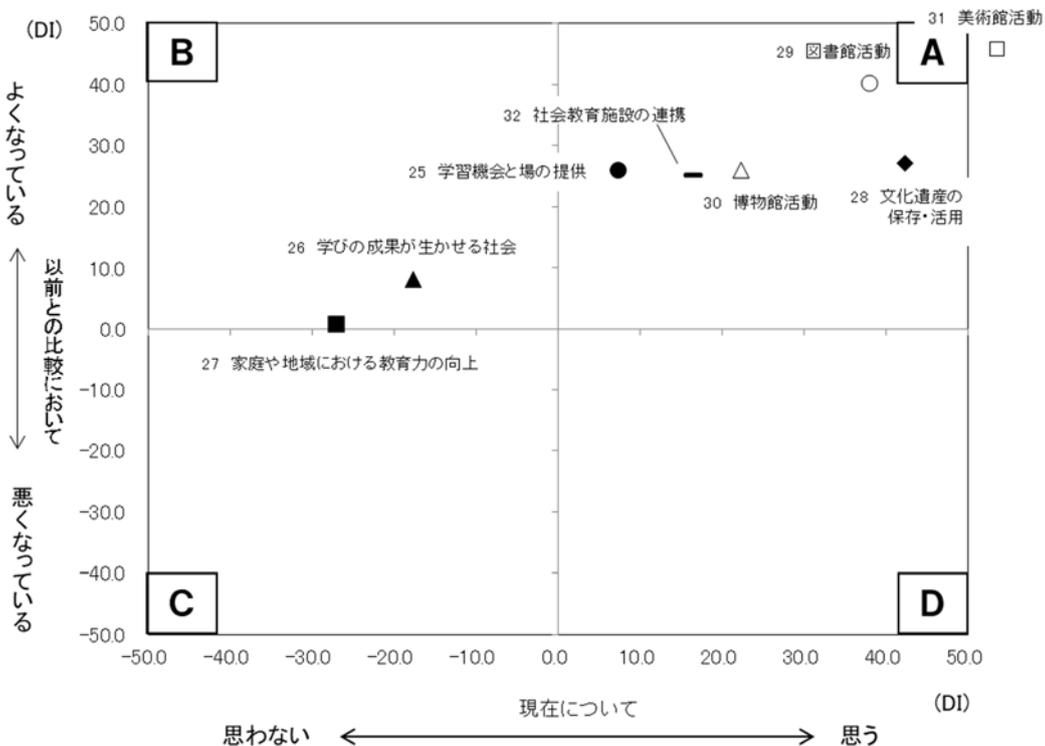
### (1) 市民の実感



(2) 保護者の実感



(3) 教員の実感



(回答理由については、P40～P48 参照)

## 12 社会教育において今後重点を置くべき目標・施策について

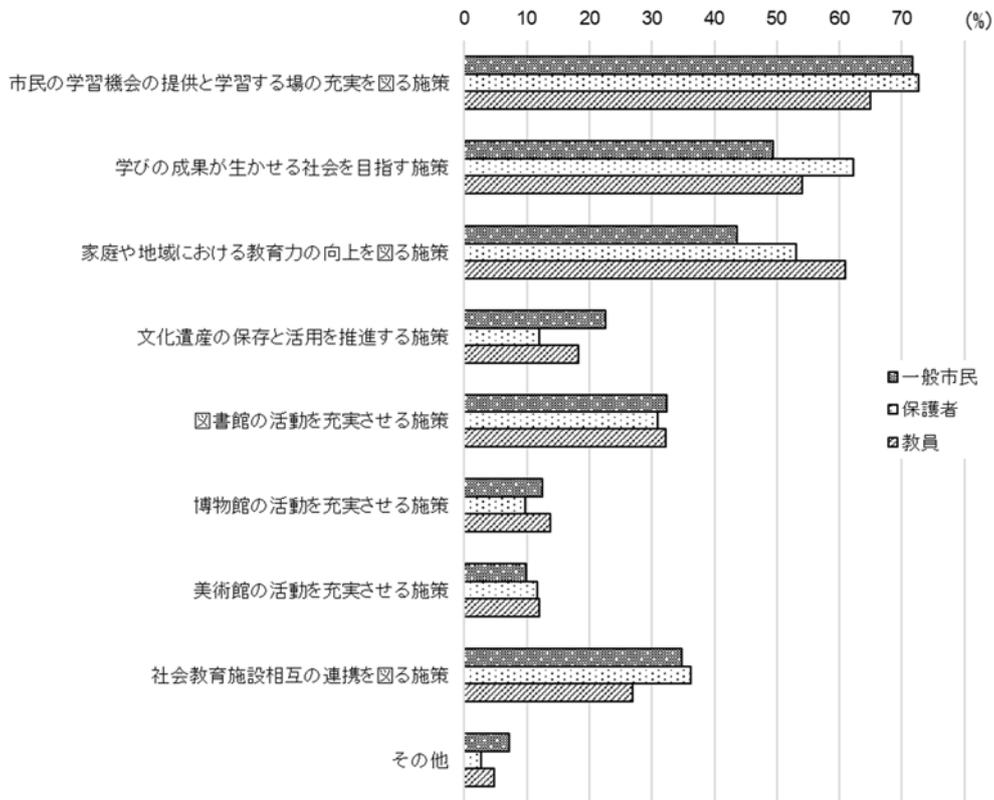
### (1) 重点を置くべき施策

問 33 横須賀において「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」を実現させるために、今後、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。(重点を置くべきと思う順に3つまで回答)

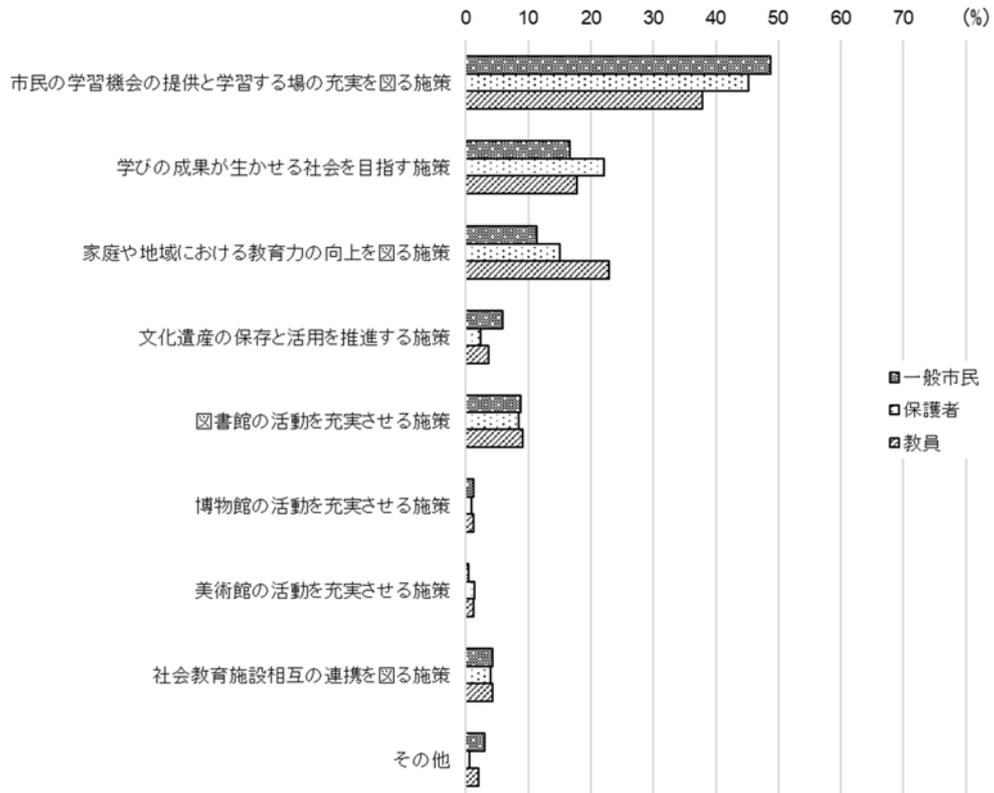
施策内容	区分	全体		1番目		2番目		3番目	
		順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策	市民	1	71.7	1	48.7	3	14.3	4	10.6
	保護者	1	72.6	1	45.3	3	14.7	3	13.9
	教員	1	65.0	1	37.8	3	13.6	3	15.3
学びの成果が生かせる社会を目指す施策	市民	2	49.3	2	16.6	1	28.0	6	7.2
	保護者	2	62.2	2	22.1	1	28.7	4	12.9
	教員	3	54.1	3	17.8	2	23.1	3	15.3
家庭や地域における教育力の向上を図る施策	市民	3	43.7	3	11.3	2	16.6	2	18.7
	保護者	3	53.1	3	15.0	2	18.3	2	21.6
	教員	2	60.9	2	22.8	1	25.2	4	15.0
文化遺産の保存と活用を推進する施策	市民	6	22.6	5	5.8	5	11.0	6	7.2
	保護者	6	12.1	6	2.3	6	7.0	8	3.1
	教員	6	18.3	6	3.6	5	8.1	7	7.5
図書館の活動を充実させる施策	市民	5	32.4	4	8.8	4	13.3	3	12.4
	保護者	5	30.9	4	8.5	4	14.3	5	9.1
	教員	4	32.2	4	9.1	4	12.9	5	11.7
博物館の活動を充実させる施策	市民	7	12.5	8	1.2	7	5.6	8	6.7
	保護者	8	9.8	8	1.0	8	3.7	7	5.6
	教員	7	13.7	9	1.3	6	7.9	8	5.3
美術館の活動を充実させる施策	市民	8	9.9	9	0.4	8	3.3	6	7.2
	保護者	7	11.7	7	1.3	7	4.0	6	7.0
	教員	8	11.9	9	1.3	8	2.4	6	9.2
社会教育施設相互の連携を図る施策	市民	4	34.7	6	4.3	6	6.8	1	26.7
	保護者	4	36.2	5	3.9	5	9.0	1	25.1
	教員	5	26.9	5	4.3	7	6.6	1	17.8
その他	市民	9	7.2	7	2.9	9	1.2	9	3.5
	保護者	9	2.6	9	0.7	9	0.3	9	1.7
	教員	9	4.8	7	2.0	9	0.3	9	2.8

- ・全体及び1番目に選択された施策の1位は、市民・保護者・教員いずれも「市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策」である。
- ・全体の2位は、市民・保護者では「学びの成果が生かせる社会を目指す施策」であり、教員では「家庭や地域における教育力の向上を図る施策」である。
- ・図書館、博物館、美術館の中では、「図書館の活動を充実させる施策」が最も多く選択されている。

【1番目・2番目・3番目 合計】



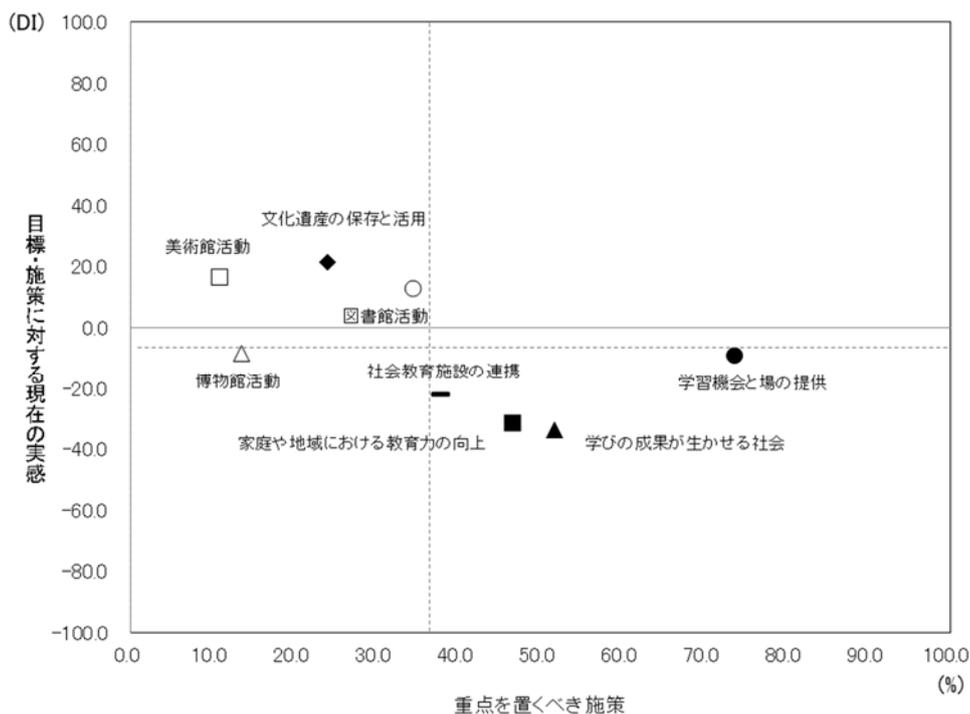
【1番目】



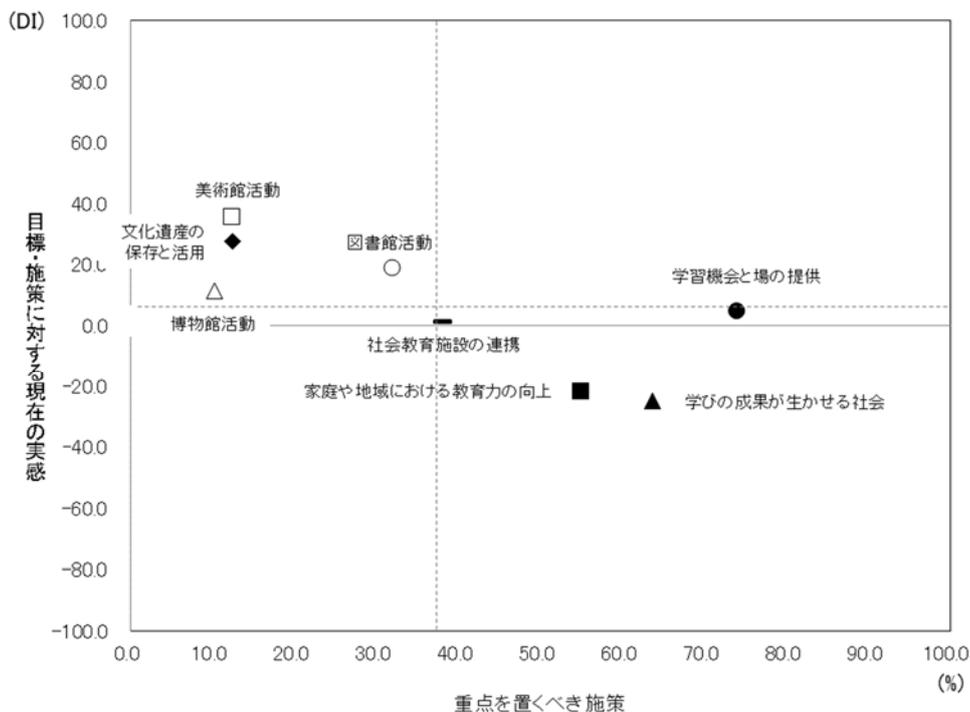
## (2) 現在の実感と重点を置くべき施策の関係

- ・「現在の実感」が平均より高く、「重点を置くべき」の割合が平均より低い施策（左上）は、市民・保護者・教員いずれも「文化遺産の保存と活用を推進する施策」「美術館の活動を充実させる施策」「図書館の活動を充実させる施策」である。保護者・教員においては「博物館の活動を充実させる施策」も同様（左上）である。
- ・「現在の実感」が平均より低く、「重点を置くべき」の割合が平均より高い施策（右下）は、市民・保護者・教員いずれも「市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策」「学びの成果が生かせる社会を目指す施策」「家庭や地域における教育力の向上を図る施策」である。

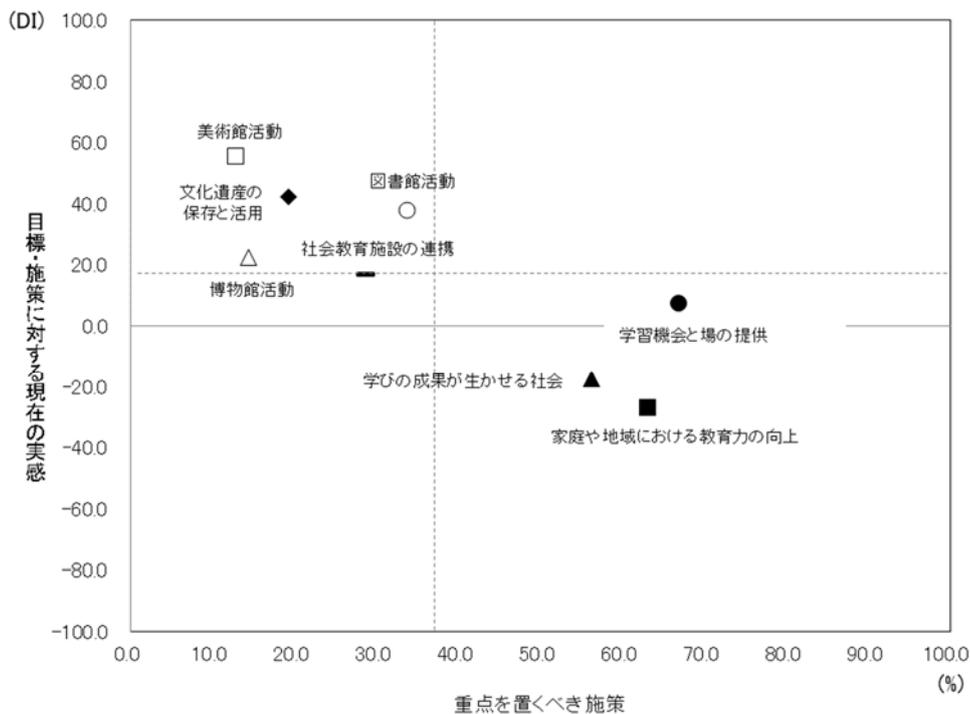
### ① 現在の実感×重点を置くべき施策（市民） ※グラフ内の破線は、それぞれの平均値



② 現在の実感×重点を置くべき施策（保護者） ※グラフ内の破線は、それぞれの平均値



③ 現在の実感×重点を置くべき施策（教員） ※グラフ内の破線は、それぞれの平均値



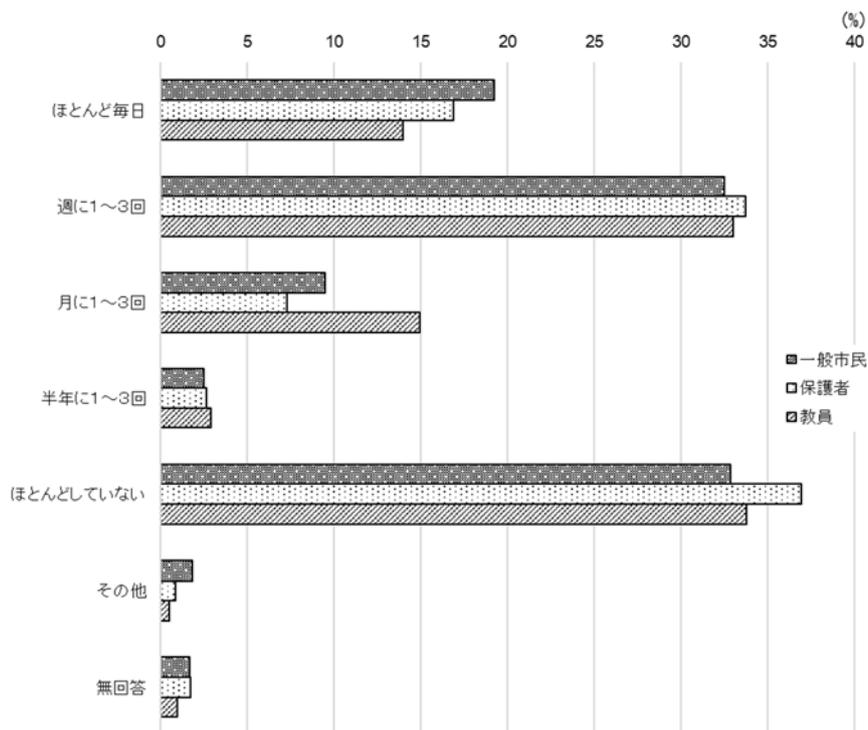
※グラフ内の破線は、「重点を置くべき施策の回答割合 (%)」と「目標・施策に対する現在の実感 (DI 値)」それぞれの平均値を示したもの (市民 : X=34.6、Y=▲6.8 保護者 : X=36.1、Y=6.6 教員 : X=35.4、Y=17.1)

### 13 スポーツに関する質問

問 34 現在(普段)、運動をしていますか。(ウオーキング・ラジオ体操などレクリエーション的なものも含みます。)

選択肢	市民		保護者		教員	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
ほとんど毎日	116	19.2	58	16.9	58	14.0
週に1～3回	196	32.5	116	33.7	137	33.0
月に1～3回	57	9.5	25	7.3	62	14.9
半年に1～3回	15	2.5	9	2.6	12	2.9
ほとんどしていない	198	32.8	127	36.9	140	33.7
その他	11	1.8	3	0.9	2	0.5
無回答	10	1.7	6	1.7	4	1.0
計	603	100.0	344	100.0	415	100.0

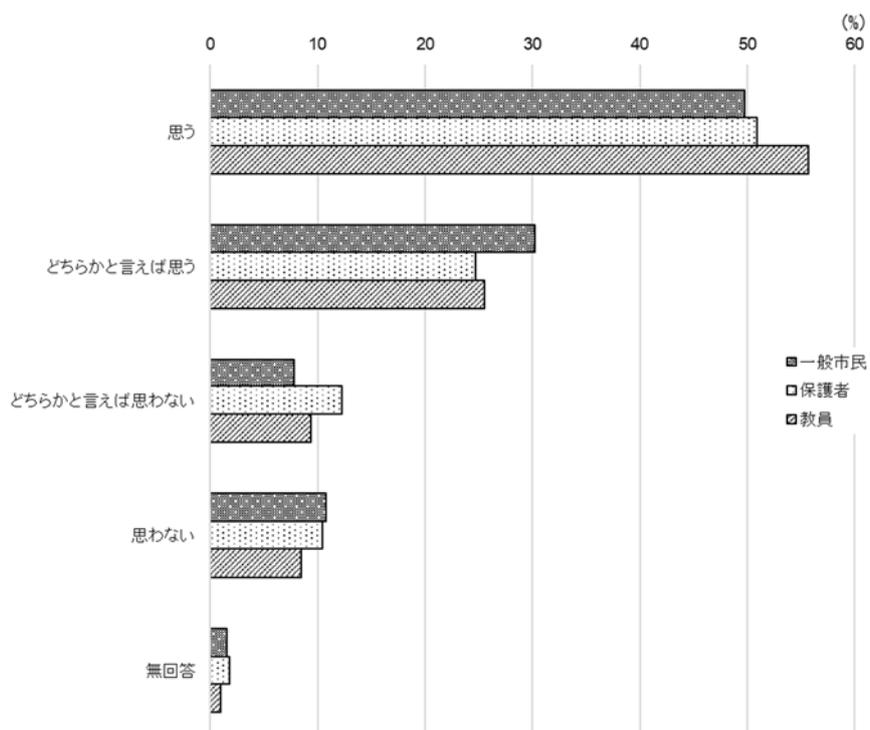
- ・最も多い回答は「ほとんどしていない」だが、ほぼ同数で「週に1～3回」が多い。
- ・「ほとんど毎日」と「週に1～3回」を合わせると、約半数である。



問 34 運動不足だと思いませんか。

選択肢	市民		保護者		教員	
	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)	回答数(人)	割合(%)
思う	300	49.8	175	50.9	231	55.7
どちらかと言えば思う	182	30.2	85	24.7	106	25.5
どちらかと言えば思わない	47	7.8	42	12.2	39	9.4
思わない	65	10.8	36	10.5	35	8.4
無回答	9	1.5	6	1.7	4	1.0
計	603	100.0	344	100.0	415	100.0

- ・約半数が、運動不足だと思っている。
- ・「思う」「どちらかと言えば思う」を合わせると、約8割である。





## 質問ごとの回答理由

問 14	子どもの学びを豊かにする施策に関する回答理由. . . . .	P32
問 15	子どもの健やかな体を育成する施策に関する回答理由. . . . .	P34
問 16	学校の組織力や教職員の力を高める施策に関する回答理由. . . . .	P36
問 17	学校・家庭・地域の連携を深める施策に関する回答理由. . . . .	P38
問 18	教育環境を整備し、充実させる施策に関する回答理由. . . . .	P39
問 25	市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策に関する回答理由. . . . .	P40
問 26	学びの成果が生かせる社会を目指す施策に関する回答理由. . . . .	P41
問 27	家庭や地域における教育力の向上を図る施策に関する回答理由. . . . .	P42
問 28	文化遺産の保存と活用を推進する施策に関する回答理由. . . . .	P43
問 29	図書館の活動を充実させる施策に関する回答理由. . . . .	P44
問 30	博物館の活動を充実させる施策に関する回答理由. . . . .	P46
問 31	美術館の活動を充実させる施策に関する回答理由. . . . .	P47
問 32	社会教育施設相互の連携を図る施策に関する回答理由. . . . .	P48

質問		DI値(ポイント)					
		市民		保護者		教員	
横須賀の		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問14	● 子どもの学びを豊かにする施策	▲ 3.1	14.8	2.5	17.1	39.8	48.7

(1) 市民 (グラフは、P10 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	ICTを活用した教育が充実している	13
	英語教育が充実している	9
	いじめ・不登校への対応が適切に実施されている	8
	一般的に学力向上に関する取り組みの成果が出ている	7
	少人数による授業や学習支援員等、学習サポート体制が充実している	5
	先生が熱心である	2
	その他、意見等	8
マイナス	いじめ・不登校への対応が不十分	13
	一般的に学力向上に関する取り組みの効果が感じられない	4
	英語教育が不十分	3
	学校での学習時間が少ない	3
	学校と家庭との連携が不十分	3
	ICTを活用した教育が不十分	1
	その他、意見等	4

(2) 保護者 (グラフ P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	英語教育が充実している	12
	ICTを活用した教育が充実している	11
	いじめ・不登校への対応が適切に実施されている	4
	少人数による授業や学習支援員等、学習サポート体制が充実している	4
	学校からの宿題や配布物でそう感じる	4
	一般的に学力向上に関する取り組みの成果が出ている	3
	様々な仕事の話などを聞く機会がある	2
	先生が熱心である	1
	その他、意見等	10
マイナス	いじめ・不登校への対応が不十分	11
	学校での学習時間が少ない	8
	コロナの影響で学習が不足している	4
	塾に頼る傾向にある	4
	ICTを活用した教育が不十分	3
	学級崩壊しているという話を聞く	2
	英語教育が不十分	1
その他、意見等	13	

(3) 教員 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブ ラ ス	ICTを活用した教育が充実している	ICTを活用した教育が充実している 31
	一般的に学力向上に関する取り組みの成果が出ている	一般的に学力向上に関する取り組みの成果が出ている 11
	いじめ・不登校への対応が適切に実施されている	校内研究等、各学校における取り組みの成果が出ている 8
	英語教育が充実している	授業の質が向上している 6
	校内研究等、各学校における取り組みの成果が出ている	子どもの学ぶ姿勢が良くなっている 5
	様々な職業の話などを聞く機会がある	人的配置、支援が進んでいる 4
	授業の質が向上している	英語教育が充実している 3
	少人数による授業や学習支援員等、学習サポート体制が充実している	少人数による授業や学習支援員等、学習サポート体制が充実している 3
	地域性を学ぶことができている	いじめ・不登校への対応が適切に実施されている 2
	子どもの学ぶ姿勢が良くなっている	研修やグループ活動の成果が出ている 1
	研修やグループ活動の成果が出ている	小中一貫教育の成果が出ている 1
	小中一貫教育の成果が出ている	その他、意見等 7
	保護者との連携がとれている	1
	その他、意見等	8
	マ イ ナ ス	ICTを活用した教育が不十分
教員の負担が増え、余裕がなくなっている		不登校が増えている 1
市の目標・施策の理解が不十分		現場に丸投げになっている 1
市の施策と現場の感覚にずれがある		教員の世代交代がうまくいっていない 1
いじめ・不登校への対応が不十分		その他、意見等 3
コロナの影響で学習が不足している		2
その他、意見等	12	

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の	問15 ▲ 子どもの健やかな体を育成する施策	12.4	6.1	24.1	11.2	12.8	7.0

## (1) 市民 (グラフは、P10 参照)

	現在について (件)		以前との比較 (件)	
	プラス	食育、給食が充実している	13	学校における体育、健康に関する指導が充実している
	学校における運動やスポーツに楽しむ機会が充実している	10	地域のスポーツや広報等を見てそう感じる	6
	公園、スポーツ施設等環境が充実している	8	食育、給食が充実している	3
	子どもの様子を見ていてそう感じる	8	その他、意見等	4
	休日のスポーツ行事等が充実している	6		
	その他、意見等	11		
マイナス	コロナの影響で運動不足になっている	11	コロナの影響で運動不足になっている	8
	運動する機会、運動できる場所が少ない	6	運動する機会、運動できる場所が少ない	6
	スマホ・ゲームなどにより外で遊ぶ子どもが減っている	5	スマホ・ゲームなどにより外で遊ぶ子どもが減っている	4
	学校での運動への関与が不十分	4	その他、意見等	6
	その他、意見等	11		

## (2) 保護者 (グラフは、P11 参照)

「①思う」「②やや思う」

	現在について (件)		以前との比較 (件)	
	プラス	部活動が充実している	10	食育、給食が充実している
	食育、給食が充実している	8	学校における体育、健康に関する指導が充実している	2
	休日のスポーツ行事等が充実している	5	以前はなかった取り組みが行われている	2
	学校における運動やスポーツに楽しむ機会が充実している	4	部活動が充実している	2
	子どもの様子を見ていてそう感じる	4	その他、意見等	2
	自然と触れ合う機会が充実している	2		
	公園、スポーツ施設等環境が充実している	1		
	その他、意見等	4		
マイナス	コロナの影響で運動不足になっている	8	コロナの影響で運動不足になっている	11
	食育、給食が不十分	6	運動する機会、運動できる場所が少ない	3
	運動する機会、運動できる場所が少ない	3	その他、意見等	5
	運動が嫌い・苦手な子どもへの対応が不十分	3		
	スマホ・ゲームなどにより外で遊ぶ子どもが減っている	1		
	その他、意見等	8		

(3) 教員 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)		
プラス	食育、給食が充実している	35	食育、給食が充実している	12
	体育の授業が充実している	18	以前はなかった取り組みが行われている	9
	スポーツ行事等が充実している	15	学校における体育、健康に関する指導が充実している	4
	部活動が充実している	7	部活動が充実している	2
	新体力テストを活用できている	2	部活動の休日設定のルールなど、改善されている	1
	子どもの様子を見ていてと思う	2	その他、意見等	1
	その他、意見等	4		
	マイナス	運動する機会、運動できる場所が少ない	13	運動する機会、運動できる場所が少ない
子どもの体力が低下している、けがをしやすい		9	子どもの体力が低下している、けがをしやすい	7
食育、給食が不十分		6	コロナの影響で運動不足になっている	5
施策が不十分		5	家庭のサポートが不十分	3
子どもの生活習慣が乱れている		4	子どもの生活習慣が乱れている	3
運動部に所属する子どもが減少している		3	給食、食育が不十分	3
家庭のサポートが不十分		3	施策が不十分	2
食生活が乱れている		3	運動部に所属する子どもが減少している	1
運動する子としない子の差が大きい		3	食生活が乱れている	1
コロナの影響で運動不足になっている		3	運動する子としない子の差が大きい	1
その他、意見等		5	その他、意見等	3

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の	問16 ■ 学校の組織力や教職員の力を高める施策	▲ 10.0	1.2	7.2	12.0	25.8	18.2

## (1) 市民 (グラフは、P10 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	教員が子どもと向き合っている	8 学校への要望が増えている中、よく対応している
	全般的に教員の努力を感じる	7 教員の連携がとれている
	教員の対応が丁寧である	4 教員が生徒の目線に立っている
	子どもの様子を見てそう感じる	3 その他、意見等
	教員間で協力しあっている	3
	その他、意見等	12
	マイナス	教員が多忙で子どもと向き合えていない
教員の資質・能力が不十分		8 教員の人材育成ができていない
子どもとの関わり方に不満がある		6 その他、意見等
授業・学力向上が不十分		4
組織が守りに入っている		3
教員同士の連携がとれていない		3
教員の人材育成ができていない		2
いじめ・不登校への対応が不十分		2
成績評価・進路指導が不十分		2
その他、意見等		4

## (2) 保護者 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	教員が子どもと向き合っている	14 教員の努力を感じる
	全般的に教員の努力を感じる	7 教員が子どものことをよく見ている
	学校運営がしっかりしている	6 保護者に対する対応が良くなった
	子どもの様子を見てそう感じる	3 その他、意見等
	コロナの中、感染対策も含め一生懸命やっていた	3
	教員の対応が丁寧である	2
	教職員の問題解決の対応がよい	2
	その他、意見等	3
マイナス	子どもとの関わり方に不満がある	9 教員が多忙で子どもと向き合えていない
	教員の資質・能力の差やバラつきが大きい	7 教員の情熱を感じなくなった
	教員の資質・能力が不十分	4 教員が頼りなくなった
	教員同士の連携が不十分	3 学校と地域の一体感が薄くなった
	教員が多忙で子どもと向き合えていない	1 その他、意見等
	その他、意見等	10

(3) 教員 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	教員同士で協力している、チームワークがある	業務改善等により子どもと向き合う時間を確保している
	研修が充実している	教員同士で協力している、チームワークがある
	業務改善等により子どもと向き合う時間を確保している	教員個々の意欲、能力が高い
	教員個々の意欲、能力が高い	研修が充実している
	適切な学校評価により学校運営が充実している	適切な学校評価により学校運営が充実している
	その他、意見等	その他
マイナス	多忙で子どもと向き合う時間や研修等の時間が取れない	教員が多忙で子どもと向き合えていない
	教員間の年齢の違いによる意識の隔たりが大きい	人材が育成できていない
	学校の組織力が低い	教員の質や意欲が低下している
	教員の質、意欲が低い	その他
	教員間で仕事量に偏りがある	
	研修が充実していない	

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の	問17 ◆ 学校・家庭・地域の連携を深める施策	▲ 4.7	2.2	6.1	8.0	9.8	6.9

## (1) 市民 (グラフは、P10 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プ ラ ス	地域と学校との連携がとれている	9
	登下校時のパトロールなど地域による見守りが行われている	7
	まちコミメールなどにより学校と家庭の連携がとれている	3
マ イ ナ ス	自分自身、地域との関わりがあまりない	7
	学校と保護者の関係がよくない	4
	地域の大人が子どもに声をかけても反応がよくない	3
	コロナの影響によりイベントもなく、学習も自宅任せになった	3
	学校の様子がわからない	3
	その他、意見等	15

## (2) 保護者 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プ ラ ス	登下校時のパトロールなど地域による見守りが行われている	8
	まちコミメールなどにより学校と家庭の連携がとれている	7
	地域と学校との連携がとれている	4
	子ども会でよく活動できている	2
	PTA活動が活発である	2
	その他、意見等	4
マ イ ナ ス	共働き家庭が増えるなど家庭との連携が減っている	5
	連携を感じない	4
	地域との連携が減っている	4
	コロナの影響により連携できていない	2
その他、意見等	5	

## (3) 教員 (グラフは、P11 参照)

「①思う」「②やや思う」

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プ ラ ス	家庭とよく連携できている	14
	行事や防災訓練など地域と学校との連携がとれている	13
	まちコミメールなどによりこまめに連絡するようにしている	12
	連携体制の構築など、取り組みが工夫できている	10
	話し合いなどコミュニケーションをとるようにしている	7
	地域による登下校時の見守りで協力いただいている	5
	コロナの影響により連携の意識が高まっている	3
	その他	4
マ イ ナ ス	学校への要求が多いなど、家庭との連携ができていない	14
	連携できている実感がない	7
	価値観の多様化などにより連携の難しさを感じる	7
	コロナの影響により連携が深まっていない	5
	地域との連携が希薄化している	4
	多忙で、連携まで意識や時間が回らない	2
	その他	2

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
横須賀の							
問18	－ 教育環境を整備し、充実させる施策	13.4	20.1	16.5	25.9	▲ 3.7	17.4

## (1) 市民 (グラフは、P10 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	エアコン等、学校施設、設備が充実している	12
	メールなど、連絡体制が良い	3
	就学が困難な家庭への支援等が充実している	3
	その他、意見等	24
マイナス	学校施設、設備が老朽化している	3
	学校の小規模化が解消されていない	2
	ICT環境が充実していない	2
	少人数学級でない	2
	正規職員でなく、臨時任用の教員が増えている	2
	学校施設の活用が十分でない	2
	その他、意見等	19

## (2) 保護者 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	エアコン等、学校施設、設備が充実している	9
	安全に関することなど、連絡体制がしっかりしている	8
	就学が困難な家庭への支援等が充実している	4
	ICT環境が充実している	3
	その他、意見等	11
マイナス	ICT環境が充実していない	5
	学校施設、設備が充実していない	4
	学校規模に差がある	1
	少人数学級でない	1
	その他、意見等	8

## (3) 教員 (グラフは、P11 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	エアコン等、学校施設、設備が充実している	33
	学校や教職員による工夫ができています	12
	ICT環境が充実している	11
	就学が困難な家庭への支援等が充実している	5
	人的配置、支援が進んでいる	4
	その他	3
マイナス	学校施設、設備が充実していない	30
	教員の人手が不足している	30
	ICT環境が充実していない	15
	学校規模に差がある	4
	学校によって教育環境に差がある	3
	少人数学級でない	3
	他の地域より遅れている	3
	支援が必要な子どもへの対応が不十分	2
その他	3	

DI値(ポイント)

質問	市民		保護者		教員	
	現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問25 ● 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策	▲ 9.2	12.5	4.9	20.5	7.3	26.0

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	生涯学習センター、コミュニティセンターが充実している	7 広報を見てそう思う
	図書館が充実している	5 生涯学習センター、コミュニティセンターが充実している
	広報を見てそう思う	4 その他、意見等
	街自体に歴史がある	2
	本人の意思次第である	2
	その他、意見等	7
マイナス	学べる場所が充実していない	8 学べる場、機会が減っている
	取り組みが周知されていない	7 講座等の内容、種類、手法が不十分
	講座等の内容、種類、手法が不十分	5 その他、意見等
	その他、意見等	17

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	広報を見てそう思う	8 以前よりは増えている
	子どもが商店街など地域の人の話を聞ける機会がある	3 様々な活動が行われている
	コミュニティセンターが充実している	3
	イベントが充実している	3
マイナス	取り組みが周知されていない	9 学校外での学習機会が減っている
	学ぶ機会がない	2
	障害のある人向けの場や機会がない	1
	学校外での学習機会が少ない	1
	コロナの影響によりイベントが減った	1
その他、意見等	1	

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	市民大学など学ぶ機会が多く用意されている	15 様々な活動が行われている
	コミュニティセンターが充実している	8 以前よりは増えている
	生涯学習センターが充実している	6 広報を見てそう思う
	他都市と比べても充実している	5 市民の意識が向上している
	広報を見てそう思う	4
	全般的に施設が充実している	3
	その他	1
マイナス	講座等の時間帯や実施方法の選択肢が少ない	15 学校外での学習機会が減っている
	取り組みが周知されていない	10 生活に時間的な余裕がない。
	あまり参加したことがない	2 全国的に伸びているのに、横須賀は停滞している
	その他	3 その他

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問26	▲ 学びの成果が生かせる社会を目指す施策	▲ 33.8	2.4	▲ 25.0	9.0	▲ 17.7	8.1

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	学びの成果を発表する場がある	2 サークルが増えている
	地域と関わりやすい環境にある	1 子どもを見ていてそう感じる
	その他、意見等	5 その他、意見等
マイナス	成果を発揮する機会が少ない	9 記載なし
	成果を生かす、という視点で学べていない	4
	取り組みが周知されていない	4
	成果を実感したことがない	4
	働く場、働く機会がない	3
	図書館が少ない	2
	無理して生かす必要もない	2
	その他、意見等	8

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	環境は整っている	2 記載なし
	その他、意見等	1
マイナス	成果を実感したことがない	3 記載なし
	成果を発揮する機会が少ない	2
	取り組みが周知されていない	2
	働く場、働く機会がない	1
	その他、意見等	2

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	発表会などの場が多くある	6 地域など、学校外との連携がある
	地域など、学校外との連携がある	5 成果が生かせる社会になっていると実感する
	成果が生かせる社会になっていると実感する	2 その他
マイナス	発揮されている場が思い浮かばない	9 コロナの影響により悪くなっている
	発揮する機会がない	8 就職先がないなど、市外にでなければならない
	就職先がないなど、市外に出なければならない	8 発揮されている場が思い浮かばない
	学び自体ができていない	2 その他
	その他	3

DI値(ポイント)

質問	市民		保護者		教員	
	現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問27 ■ 家庭や地域における教育力の向上を図る施策	▲ 31.7	4.7	▲ 21.8	13.3	▲ 27.1	0.8

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	ボランティア等地域の活動が充実している	ボランティア等地域の活動が充実している
	家庭が協力的である	塾が充実している
	その他、意見等	その他、意見等
マイナス	取り組みの内容を知らない	地域のつながりが希薄化している
	地域での教育を感じない	子どもたちのマナーが悪い
	家庭での教育を感じない	社会人も学びの時間確保が難しい
	その他、意見等	

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	地域や保護者による授業など、工夫されている	小学校での職業調べなどが良い
	NPOの活動がよく周知されている	その他、意見等
	地域の見守りやPTAの声掛けだけでも素晴らしい	
	その他、意見等	
マイナス	取り組みの内容を知らない、実感が無い	地域のつながりが希薄化している
	共働きの増加等、家族構成の変化による	その他、意見等
	地域とつながる機会が少ない	
	他都市と比べて不十分	
	その他、意見等	

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	地域の協力により向上していると感じる	地域の協力により向上していると感じる
	家庭学習に前向きな家庭が多い	家庭学習に前向きな家庭が増えている
	子どもの様子を見てそう感じる	様々な施策からそう感じる
	その他	その他
マイナス	家庭での教育に課題がある	家庭での教育に課題がある
	どのような機会や施策があるのか知らない、実感が無い	その他
	地域や家庭への働きかけが難しい	
	家庭教育に対する支援、施策が不十分	
	学校の負担が大きい	
その他		

DI値(ポイント)

質問	市民		保護者		教員	
	現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問28 ◆ 文化遺産の保存と活用を推進する施策	21.3	21.3	27.6	20.9	42.3	27.1

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	文化財の活用が充実している	文化財の活用が充実している
	博物館、美術館等が充実している	広報が充実している
	広報が充実している	その他、意見等
	文化財の保存が充実している	
	その他、意見等	
マイナス	文化財の保存が不十分	文化に対する取り組みが不十分
	文化財の活用が不十分	緑が減っている
	取り組みが周知されていない	戦争遺産に偏っている
	戦争遺産に偏っている	その他、意見等
	その他、意見等	

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	博物館、美術館等が充実している	学校で見学に行くなど機会は増えている
	猿島、三笠が活用されている	
	学校教育の題材にもなっている	
	広報が充実している	
	伝統文化が守られている	
	その他、意見等	
マイナス	地域のお祭りに参加する子どもが少ない	記載なし
	活用されている実感が無い	
	その他、意見等	

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
ブラス	文化遺産が豊富に残されている	広報が充実している
	広報が充実している	文化遺産の活用の取り組みが充実している
	学校教育の題材にもなっている	その他
	観光等でうまく活用できている	
	各地域で伝統文化が守られている	
	博物館、美術館等が充実している	
	猿島、三笠が活用されている	
	古いものがなくなっている	自然が破壊されている
マイナス	学校教育、博物館等でもっと活用すべき	予算がかけられていない
	PRが不十分	横須賀の良さが浸透していない
	その他	

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問29	○ 図書館の活動を充実させる施策	13.0	18.8	19.0	16.9	38.0	40.2

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	返却場所が多いなど、便利である	7
	子育て世代が利用しやすい	4
	イベントが充実している	3
	蔵書が充実している	3
	自習室が充実している	2
	立地が良い	2
	広報が充実している	1
	その他、意見等	10
マイナス	立地、交通の便が悪い	12
	取り組みが周知されていない	4
	館内の読書環境が良くない	3
	蔵書が少ない	3
	貸出条件などサービス内容が不十分	2
	魅力が少ない	2
	その他、意見等	7

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	読み聞かせ会など子ども向けイベントが充実している	6
	蔵書が充実している	4
	返却場所が多いなど、便利である	3
	司書が協力的である	1
	自習室が充実している	1
	立地が良い	1
	その他、意見等	3
マイナス	立地、交通の便が良くない	3
	図書館の数や蔵書が少ない	2
	あまり利用しない	2
	取り組みが周知されていない	1

(3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)	
プラス	図書館ボランティアの活動が活発である	13 返却場所が多いなど、便利である	8
	市立図書館でのイベントが充実している	11 図書館ボランティアの活動が活発である	4
	返却場所が多いなど、便利である	10 来館者が増加している	3
	学校図書館等、学校での活動が充実している	10 学校図書館等、学校での活動が充実している	2
	読み聞かせ会など子どもの読書活動が充実している	10 市立図書館でのイベントが充実している	2
	蔵書が充実している	4 読み聞かせ会など子どもの読書活動が充実している	2
	自分が利用していてそう思う	3 蔵書が充実している	2
	学校での利用がしやすい	2 学校での利用がしやすい	1
	レファレンスが充実している	1 図書館からの情報提供が多くなった	1
	その他	4 その他	4
マイナス	魅力が少ない	8 インターネットの普及による部分もある	2
	施設、環境が充実していない	4 ボランティアが参加できていない	1
	子どもに図書館に対する興味や時間がない	2 西地区に図書サービスがなくなった	1
	図書館の数や蔵書が少ない	2 その他	1
	図書館を使いたくなるような学習活動が少ない	2	
	学校に対する支援が弱い	2	
	取り組みが周知されていない	1	

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問30	△ 博物館の活動を充実させる施策	▲ 8.4	8.5	11.3	9.6	22.4	26.1

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	様々な取り組みが行われている	学習機会の支援が充実している
	子どもを対象とした取り組みが充実している	子どもがよく利用している
	通いやすい場所にある	展示内容が良い
	無料なのが良い	その他、意見等
	博物館の職員が親しみやすい	
	その他、意見等	
	マイナス	昔から変化がない
	取り組みが周知されていない	
	魅力が少ない	
	その他、意見等	

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	学校でよく利用されている	記載なし
	楽しく学べることが多い	
	広報が充実している	
	イベントが充実している	
	子どもを対象とした取り組みが充実している	
	その他、意見等	
マイナス	昔から変化がない	コロナの影響で生活に制限があるため
	魅力が少ない	
	他都市と比べると不十分	
	立地が良くない	
	イベントが少ない	
	授業の中で扱うことが少ない	
	ほとんど関わることがない	

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	学校でよく利用されている	子どもがよく利用している
	イベントが充実している	広報が充実している
	子どもの利用が充実している	イベントが充実している
	施設や雰囲気を利用しやすい	家族ぐるみで楽しめる
	動画配信サービスが良い	その他、意見等
	広報が充実している	
	その他、意見等	
	マイナス	取り組みが周知されていない
	子どもが親しみにくい	その他、意見等
	施設が古い	
	学校が博物館に行く時間を作りにくい	
	活動に対する予算が少ない	
	学習支援が少ない	
	その他、意見等	

DI値(ポイント)

質問		市民		保護者		教員	
		現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問31	<input type="checkbox"/> 美術館の活動を充実させる施策	16.5	29.1	35.7	29.6	55.6	44.9

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	展示、企画の内容が良い	15
	他県に対しても誇れる施設である	8
	子どもを対象とした取り組みが充実している	6
	広報が充実している	5
	景観が良い	2
	その他、意見等	10
	マイナス	交通の便が悪い
展示、企画の内容に魅力を感じない		6
子どもを対象とした取り組みが不十分		2
親しみにくい		2
取り組みが周知されていない		2
その他、意見等	13	

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	展示、企画の内容がよい	6
	子どもを対象とした取り組みが充実	6
	景観、施設が良い	6
	児童生徒作品造形展がよい	6
	広報が充実	3
	横須賀美術館の意義は大きい	1
	その他、意見等	2
マイナス	展示、企画の内容に魅力を感じない	3
	交通の便が悪い	2
	子ども向けという点が弱い	1
	美術館の数が少ない	1
	市民が利用している話を聞かない	1
その他、意見等	1	

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	展示、企画の内容が良い	33
	子どもを対象とした取り組みが充実している	30
	広報が充実している	13
	景観、施設が良い	11
	児童生徒造形作品展が良い	5
	市外の人呼び込める	2
	その他、意見等	4
マイナス	子ども向けの取り組みが不十分	4
	展示、企画の内容に魅力を感じない	4
	親しみにくい	3
	その他、意見等	1

DI値(ポイント)

質問	市民		保護者		教員	
	現在	以前との比較	現在	以前との比較	現在	以前との比較
問32 ー 社会教育施設相互の連携が図られていると思いますか。	▲ 22.3	11.8	1.0	17.7	16.4	25.0

## (1) 市民 (グラフは、P22 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	美術館など学校と連携している動きがある	1 学校、生涯学習センターが連携した取り組みが充実している
	地域に根付いている	1 子どもがよく利用している
	その他、意見等	2
マイナス	連携を感じない	5 連携を感じない
	その他、意見等	19 その他

## (2) 保護者 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	美術館など、学校と連携している	3 学校からのお知らせがある
	その他、意見等	1 その他、意見等
マイナス	連携を感じない	3 記載なし
	取り組みが周知されていない	3
	全体的に数が少ない	1
	その他、意見等	1

## (3) 教員 (グラフは、P23 参照)

	現在について (件)	以前との比較 (件)
プラス	同時期に繋がりのある企画展を展開するなど、連携がとれている	7 同時期に繋がりのある企画展を展開するなど、連携がとれている
	学校との連携がよく行われている	5 学校との連携がよく行われている
	広報を見てそう感じる	4 広報を見てそう感じる
	その他、意見等	6 その他、意見等
マイナス	連携を感じたことはない	7 連携を感じたことはない
	取り組みが周知されていない	1
	その他、意見等	3

## 基本的な属性

### 1 市民

#### F1 年齢

	計	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
割合	100.0%	2.5%	11.8%	13.4%	15.1%	13.3%	21.9%	20.6%	1.5%
人数	603	15	71	81	91	80	132	124	9

### 2 保護者

#### F1 保護者の年齢

	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答
割合	100.0%	0.9%	23.8%	59.9%	11.3%	1.5%	0.3%	2.3%
人数	344	3	82	206	39	5	1	8

#### F2 子どもが通う学校の種別

	計	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	無回答
割合	100.0%	52.0%	56.7%	20.1%	4.7%	2.0%
人数	344	179	195	69	16	7

\* 重複回答あり

### 3 教員

#### F1 年齢

	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	無回答
割合	100.0%	22.9%	24.8%	20.0%	21.2%	9.9%	1.2%
人数	415	95	103	83	88	41	5

#### F2 教員としての勤続年数

	計	5年以内	6～10年	11年～20年	21年～30年	31年以上	無回答
割合	100.0%	24.1%	22.4%	22.9%	12.8%	16.6%	1.2%
人数	415	100	93	95	53	69	5

#### F3 勤務する学校の種別

	計	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	無回答
割合	100.0%	54.7%	34.7%	4.1%	5.5%	1.0%
人数	415	227	144	17	23	4

# 横須賀市教育アンケート (市民用)

一般市民に配布した調査票を掲載します。  
(保護者・教員に配布した調査票も、属性に関する質問以外は同一のものです。)

## 質問・回答用紙

- ◇ こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
- ◇ 回答欄にご記入の上、3つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に封入し、  
令和2年11月30日(月)までにご投函ください。

※「現在について」と「以前との比較」の記入の仕方(例)

質問内容	回答欄											
	現在について						以前との比較					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	思っている	思っている	思っている	思っている	思っている	思っている
問1 横須賀の子どもは、自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けていると思いませんか。	①	2	3	4	5	6	1	2	③	4	5	6

それぞれ(両方)、選択肢に○をしてください。

## 横須賀の子ども像「人間性豊かな子ども」について ～特に大切にしたい6つの要素～

問1～問6について、現在についてと、以前(4～5年前)との比較について、それぞれの選択肢から選んで番号に○をしてください。

質問内容	回答欄											
	現在について						以前との比較					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	思っている	思っている	思っている	思っている	思っている	思っている
問1 横須賀の子どもは、自ら進んで学び、問題解決する力を身に付けていると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
問2 横須賀の子どもは、生命や人権を尊重し、他者との豊かな関わりを持っていると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
問3 横須賀の子どもは、心と体の健康を意識し、健やかな体を持っていると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
問4 横須賀の子どもは、自らの可能性を信じ、夢や目標に向かって努力していると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
問5 横須賀の子どもは、社会の一員としてルールを守り、主体的に社会に貢献していると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
問6 横須賀の子どもは、郷土を愛し、豊かな国籍性を身に付けていると思いませんか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

**目指す子どもの教育の姿「学校・家庭・地域が、それぞれの役割を果たすとともに、信頼し、協力しながら、横須賀の子どもを育てている」について**

問7～問9について、現在についてと、以前（4～5年動）との比較について、それぞれの選択肢から選んで番号に○をしてください。

	質問内容	回答欄												
		現在について						以前との比較						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
<b>問7</b>	横須賀では、学校が、家庭や地域に積極的に関わりを求め、教育活動への協力を体制を築くとともに、さまざまな教育活動を通して、子どもの「生きる力」を育成していると思いますか。	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	思わない	思わない	どちらともいえない	変わっていない	変わっている	悪くなっている	わからない
<b>問8</b>	横須賀では、家庭が、学校や地域に積極的に関わるとともに、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられるよう、また、自立心や思いやりの心などを育てるよう、子どもを育てていると思いますか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
<b>問9</b>	横須賀では、地域が、日常生活はもとより、行事、生涯学習、スポーツ、企業活動など様々な場面において子どもや家庭に積極的に関わり、学校と連携して子どもの成長を支援していると思いますか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	

**「生きる力」の育成について**

問10～問13について、現在についてと、以前（4～5年動）との比較について、それぞれの選択肢から選んで番号に○をしてください。

	質問内容	回答欄												
		現在について						以前との比較						
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
<b>問10</b>	横須賀の学校教育において、子どもの「豊かな学力」は育まれていると思いますか。	思う	やや思う	どちらともいえない	あまり思わない	思わない	わからない	思わない	思わない	どちらともいえない	変わっていない	変わっている	悪くなっている	わからない
<b>問11</b>	横須賀の学校教育において、子どもの「豊かな心」は育まれていると思いますか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
<b>問12</b>	横須賀の学校教育において、子どもの「種やかな体」は育まれていると思いますか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
<b>問13</b>	豊かな学力・豊かな心・種やかな体のバランスのとれた「生きる力」は育まれていると思いますか。	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	

### 学校教育における各目標・施策について

問 14～問 18 について、現在について、以前（4～5年前）との比較について、それぞれの選択肢から選んで番号に○をしてください。また、その理由もお書きください。

質問内容	回答欄	
	現在について	以前との比較
質問内容	1 2 3 4 5 6 思 っ っ っ っ っ っ よ や や や や や も ろ も ろ も ろ も ろ も ろ あ ま り 思 っ っ っ っ っ な い な い な い な い な い な い な い な い な い な い	1 2 3 4 5 6 思 っ っ っ っ っ っ よ や や や や や も ろ も ろ も ろ も ろ も ろ あ ま り 思 っ っ っ っ っ な い な い な い な い な い な い な い な い な い な い
	問14 横須賀の子どもの学びは豊かになっているかと思いませんか。 （施策の例） 学力向上に関する取り組みの充実 いじめや不登校への対策の適切な実施 国際コミュニケーション能力の育成の充実 ICTを活用した教育の充実	1 2 3 4 5 6 （理由）
問15 横須賀の子どもは、健やかな体に育成されているかと思いませんか。 （施策の例） 学校における体育・健康に関する指導の充実 学校における食育の充実 学校において運動やスポーツに参りむ機会の充実	1 2 3 4 5 6 （理由）	1 2 3 4 5 6 （理由）
問16 横須賀の学校の組織力や教職員の力は高いかと思いませんか。 （施策の例） 教職員が子どもと向き合う時間の確保 教職員の専門能力向上を図る研修の充実 適切な学校評価による学校運営の充実・改善	1 2 3 4 5 6 （理由）	1 2 3 4 5 6 （理由）

質問内容	回答欄	
	現在について	以前との比較
質問内容	1 2 3 4 5 6 思 っ っ っ っ っ っ よ や や や や や も ろ も ろ も ろ も ろ も ろ あ ま り 思 っ っ っ っ っ な い な い な い な い な い な い な い な い な い な い	1 2 3 4 5 6 思 っ っ っ っ っ っ よ や や や や や も ろ も ろ も ろ も ろ も ろ あ ま り 思 っ っ っ っ っ な い な い な い な い な い な い な い な い な い な い
	問17 横須賀の学校・家庭・地域の連携は深まっているかと思いませんか。 （施策の例） 家庭との連携による望ましい生活・学習・運動習慣の確立 学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる体制の構築	1 2 3 4 5 6 （理由）
問18 横須賀の教育環境は整齊・充実しているかと思いませんか。 （施策の例） 学校の適正規模・適正配置の推進 学校施設の適切な整備・経営管理 学校事故等緊急時の体制づくり 経済的理由により就学が困難な家庭への支援	1 2 3 4 5 6 （理由）	1 2 3 4 5 6 （理由）

### 学校教育において今後重点を置くべき目標・施策について

問 19 確かな学力・豊かな心・健やかな体のバランスのとれた「生きる力」を育成するため、今後、市はどのような施策に重点を置くべきかと思いませんか。次の選択肢から重点を置くべきと思ふ順に3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、⑥その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 子どもの学びを豊かにする施策
- ② 子どもの健やかな体を育成する施策
- ③ 学校の組織力や教職員の力を高める施策
- ④ 学校・家庭・地域の連携を深める施策
- ⑤ 教育環境を整備し、充実させる施策
- ⑥ その他（具体的にお願いします）

回答欄

1 番目	2 番目	3 番目
「⑥その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。		

## 望ましい先生について

**問 20** あなたが考える望ましい先生は、どのような先生ですか。次の選択肢から主なものを3つまで選んでその番号に○をしてください。なお、「10 その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- 1 意欲的な、熱心な先生
- 2 明るく、何でも相談できる先生
- 3 いじめがなく、所属感が感じられるクラスづくりができる先生
- 4 やさしく、時には厳しい先生
- 5 子どもよいところを伸ばすことができる先生
- 6 子ども同士の豊かな関わりをつくることができる先生
- 7 わかりやすい授業ができる先生
- 8 専門的な知識や社会経験が豊かな先生
- 9 保護者や地域の人たちと協力できる先生
- 10 その他（具体的に書きください）

## 学校での子どもの教育に必要だと思うことについて

**問 21** あなたが、学校での子どもへの教育に必要だと思うことは何ですか。次の選択肢から主なものを3つまで選んでその番号に○をしてください。なお、「11 その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- 1 自ら学び自ら考える力を身に付けること
- 2 生活を営むために必要な基礎的知識・技能を身に付けること
- 3 社会の激しい変化に対応できる知識・技能を身に付けること
- 4 試験で高い得点がとれる知識を身に付けること
- 5 礼儀や社会のルールを身に付けること
- 6 他者との豊かな人間関係を築くことができるようにすること
- 7 さまざまな体験を積むこと
- 8 思いやりの心を育むこと
- 9 個性を伸ばすこと
- 10 健やかに育つこと
- 11 その他（具体的に書きください）

## 基礎的な学力を高めるための取り組みについて

**問 22** 基礎的な学力を高めるために、学校教育でどのような取り組みが必要とお考えですか。次の選択肢から主なものを3つまで選んでその番号に○をしてください。なお、「11 その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- 1 授業時間を増やす
- 2 放課後・休日などに補習を行う
- 3 少人数指導や習熟度学習、ティームティーチング（複数教師による指導）などを充実させる
- 4 学校の教育活動を支援するボランティアを活用して、きめ細かな指導を行う
- 5 教材研究の時間を確保し、教師の力量を高める
- 6 外部講師による授業や校外体験学習などを行う
- 7 必要に応じてパソコンやプロジェクタを使った授業を行う
- 8 小学校で教科担任制を取り入れる（得意な教科を専門の先生が教える）
- 9 読書活動を推進する
- 10 小学校や中学校の学習の系統性を大切にする
- 11 その他（具体的に書きください）

## いじめや不登校への対策について

**問 23** いじめや不登校を未然に防止するために、どのような対策が有効だとお考えですか。次の選択肢から主なものを3つまで選んでその番号に○をしてください。なお、「11 その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- 1 学校全体で対応する体制を確立する
- 2 学校における相談体制をさらに充実させる
- 3 いじめ・不登校の問題についての教員研修を充実させる
- 4 就学前教育と小学校教育の連携や小中一貫教育の充実を図り、小学校及び中学校入学時のつまづきをなくす
- 5 外部の関係機関とのネットワークを強化する
- 6 いじめ防止などについて子どもへの意識啓発を強化する
- 7 子どもへのアンケートや面談などを定期的に行う
- 8 地域・家庭と連携し、子どもがもっとさまざまな生活体験ができるようにする
- 9 学校と家庭が連携し、さまざまな取り組みへの協力体制を強化する
- 10 学校・保護者・地域で、いじめや不登校について話し合い、地域ぐるみで対策を進める
- 11 その他（具体的に書きください）

### 社会教育における各目標・施策について

問 24～問 32 について、現在についてと、以前（4～5年前）との比較について、それぞれの選択肢から選んで回答欄に○をしてください。また、その理由もお書きください。

質問内容	回答欄	
	現在について	以前との比較
質問内容	1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない 6 わかりません	1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない 6 わかりません
	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問24</b> 横須賀では、「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」が実現していると思いますか。	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問25</b> 横須賀市民の学習機会と場の提供は充実していると思いますか。 (施策の別) 多様な学習の機会の提供 人権教育・啓蒙に関する取り組みの充実 学習情報の収集・提供、学習相談の充実 生涯学習センター・コミュニティセンターの活用	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問26</b> 横須賀は学びの成果が社会に生かされていると思いますか。 (施策の別) 学びの成果を地域に生かす活動の支援	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)

質問内容	回答欄	
	現在について	以前との比較
質問内容	1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない 6 わかりません	1 思う 2 やや思う 3 どちらともいえない 4 あまり思わない 5 思わない 6 わかりません
	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問27</b> 横須賀は家庭や地域における教育力の向上が図られていると思いますか。 (施策の別) 地域の人が社会教育で学んだ成果を学校教育に生かす活動の支援 家庭教育に関する支援の充実	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問28</b> 横須賀の文化遺産は保存・活用がされていると思いますか。 (施策の別) 横須賀らしい文化遺産の適切な保存・活用・継承 市内各地の民俗芸能・伝統文化の保護・継承 日本の近代化を伝える遺産の調査・保護・活用	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問29</b> 横須賀の図書館の活動は充実していると思いますか。 (施策の別) レファレンスと情報提供の充実 企画展等の充実 子ども読書活動の推進 図書館ボランティア活動の推進	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)
<b>問30</b> 横須賀の博物館の活動は充実していると思いますか。 (施策の別) 近代歴史資料の調査と保存・活用 博物館による学習機会の支援 子ども向け博物館教育普及活動の推進 親しみやすい博物館活動の推進	1 2 3 4 5 6 (理由)	1 2 3 4 5 6 (理由)

質問内容	現在について						以前との比較					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
質問内容	思う	やや思う	思うくらい思う	思わない	思わない	わからない	思う	やや思う	思うくらい思う	思わない	思わない	わからない
<b>問31</b>	横須賀の美術館の活動は充実していると思いますか。 (施策の列) 展覧会の充実 教育普及活動の推進 子どもたちへの美術館教育の推進 市民に馴染まれる美術館を目指した活動の推進						1 2 3 4 5 6 (理由) 1 2 3 4 5 6 (理由)					
<b>問32</b>	横須賀は社会教育施設相互の連携が図られていると思いますか。 (施策の列) 図書館、博物館、美術館、生涯学習センターが連携した取り組みの充実						1 2 3 4 5 6 (理由) 1 2 3 4 5 6 (理由)					

### 社会教育において今後重点を置くべき目標・施策について

**問33** 横須賀において「いつでも、どこでも、だれでも学べる社会」を実現させるために、今後、市はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。次の選択肢から重点を置くべきと思う頂上3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、⑨その他の選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 市民の学習機会の提供と学習する場の充実を図る施策
- ② 学びの成果が生かせる社会を目指す施策
- ③ 家庭や地域における教育力の向上を図る施策
- ④ 文化遺産の保存と活用を推進する施策
- ⑤ 図書館の活動を充実させる施策
- ⑥ 博物館の活動を充実させる施策
- ⑦ 美術館の活動を充実させる施策
- ⑧ 社会教育施設相互の連携を図る施策
- ⑨ その他（具体的に書きください）

回答欄

1 番目	2 番目	3 番目
「⑨その他」を選んだ方は、その内容をお書きください。		

### スポーツに関する質問

**問34** 現在（海段）、運動をしていますか。（ウォーキング・ラジカ体操などレクリエーション的なものも含みます。）次の選択肢から1つ選んでその番号に○をしてください。なお、「6 その他」を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- 1 ほとんど毎日
- 2 週に1～3回
- 3 月に1～3回
- 4 半年に1～3回
- 5 ほとんどしていません
- 6 その他（具体的に書きください）

**問35** 運動不足だと思いますか。次の選択肢から1つ選んでその番号に○をしてください。

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない

### あなた自身のことについてお伺いします

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。分析に必要なデータですので、全員の方がお答えください。

年齢について、あなたに当てはまるものに○をしてください。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 | 4 40～49 歳 |
| 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 | 7 70 歳以上  |           |

ご協力ありがとうございました。

保護者用（属性に関する質問）

**あなた自身のことについてお伺いします**

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。  
分析に必要なデータですので、**全員の方がお答えください。**

次の各項目において、あなたにあてはまるものに○をしてください。

- F 1 年齢  
1 20～29歳    2 30～39歳    3 40～49歳    4 50～59歳  
5 60～69歳    6 70歳以上

F 2 お子様が通う学校の種別（該当するものすべて）

- 1 小学校    2 中学校    3 高等学校    4 特別支援学校

教員用（属性に関する質問）

**あなた自身のことについてお伺いします**

※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。  
分析に必要なデータですので、**全員の方がお答えください。**

次の各項目において、あなたにあてはまるものに○をしてください。

- F 1 年齢  
1 20～29歳    2 30～39歳    3 40～49歳    4 50～59歳    5 60歳以上
- F 2 教員としての勤続年数  
1 5年以内    2 6～10年    3 11年～20年    4 21年～30年    5 31年以上

F 3 勤務する学校の種別

- 1 小学校    2 中学校    3 高等学校    4 特別支援学校



**横須賀市教育アンケート報告書**  
**(一般市民・保護者・教員)**

発行年月：令和3年（2021年）4月

編集・発行：横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話：046-822-9751 FAX：046-822-6849

E-mail:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp